

令和3年6月29日

## 中山間地域・離島振興特別委員会資料

### 報告事項

- |   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 中山間地域の人口等の現状について            | 1  |
| 2 | 島根県過疎地域持続的発展方針（素案）について      | 36 |
| 3 | 特定有人国境離島地域関係都道県協議会による要望について | 37 |
| 4 | 隠岐地域の物価・物流に関する調査について        | 43 |

#### 【別冊資料】

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 別冊資料1 | 島根県過疎地域持続的発展方針（素案） |
| 別冊資料2 | 過疎地域持続的発展方針に係る修正表  |

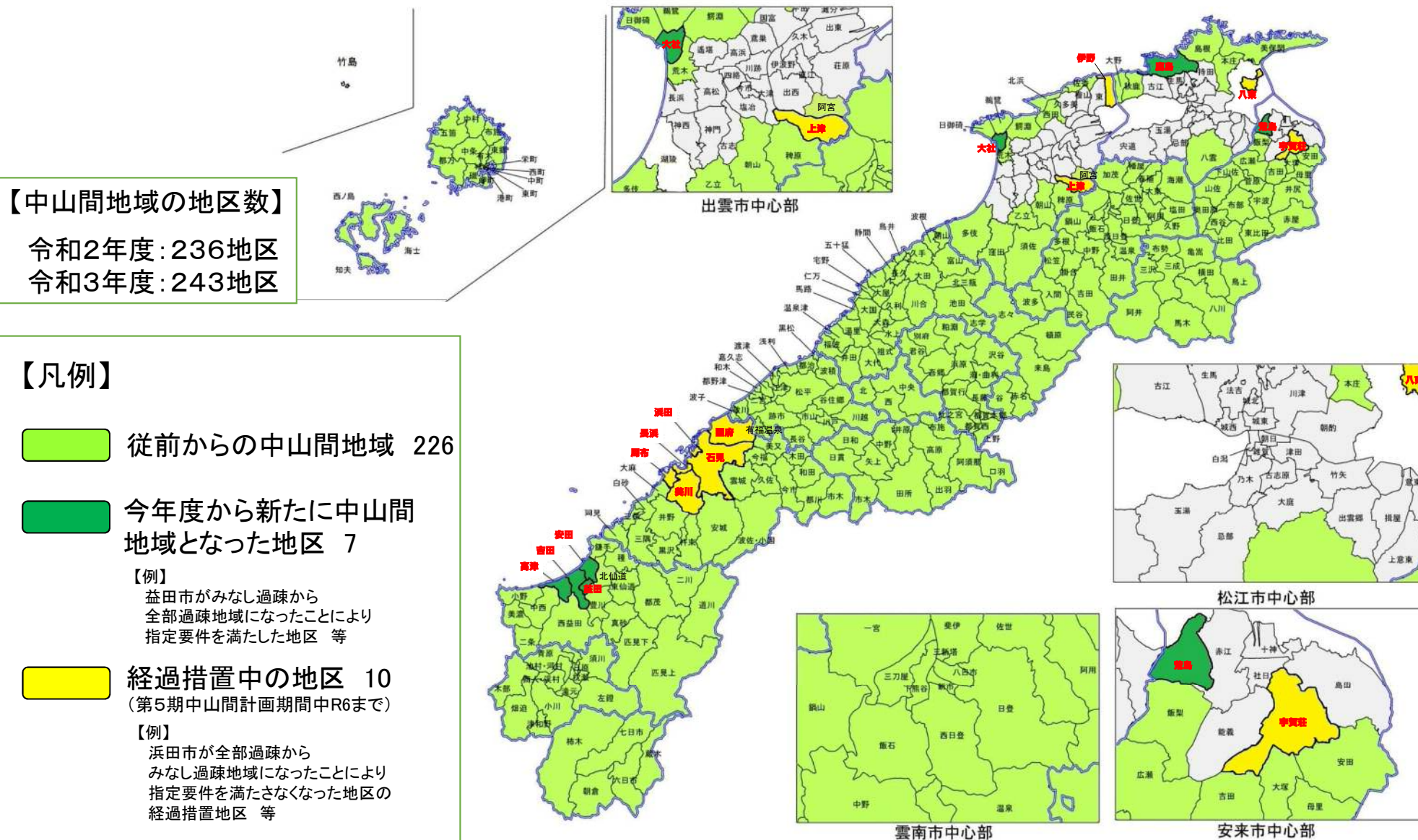
地域振興部



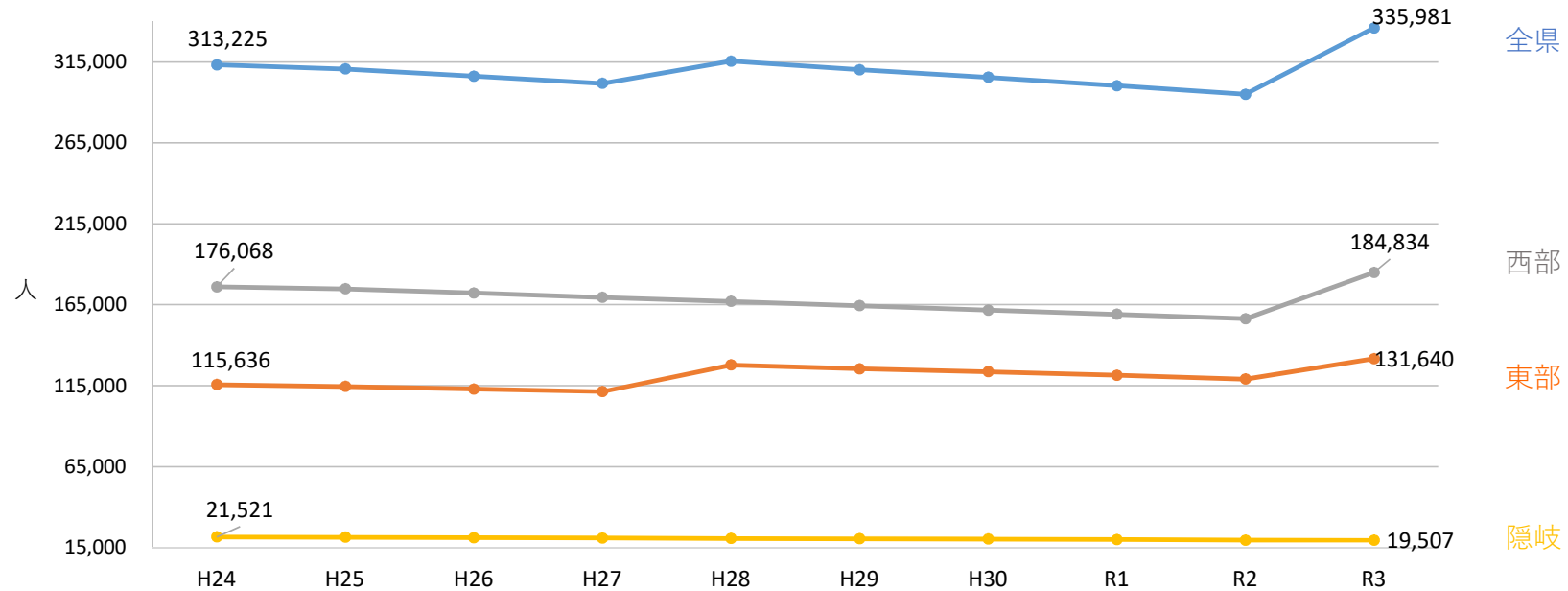
# 中山間地域の人口等の現状について

令和3年6月29日  
中山間地域・離島振興特別委員会資料  
地域振興部中山間地域・離島振興課

## 1 中山間地域の指定状況（公民館単位）（令和3年4月1日）



## 2-1 中山間地域の人口推移

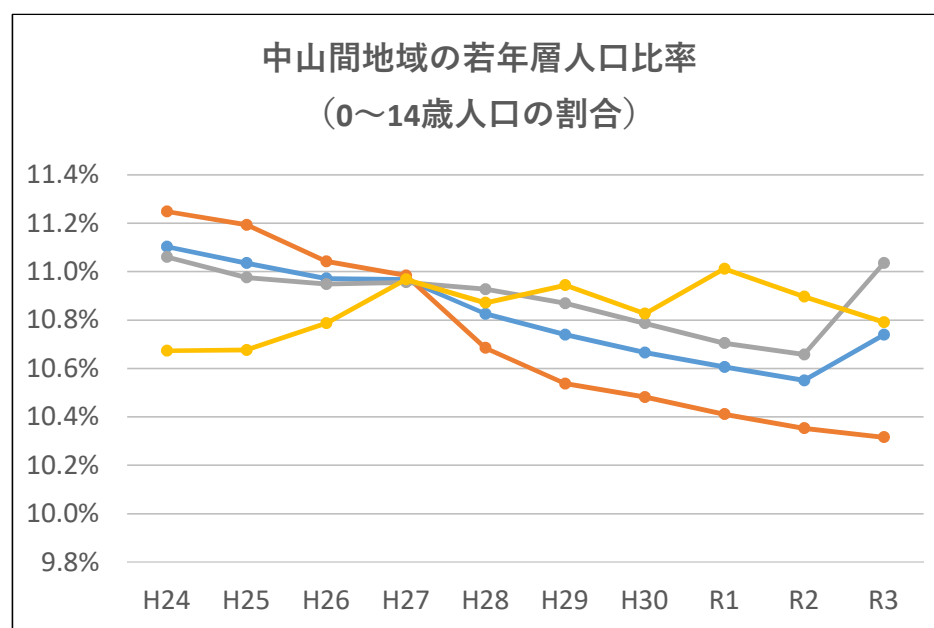
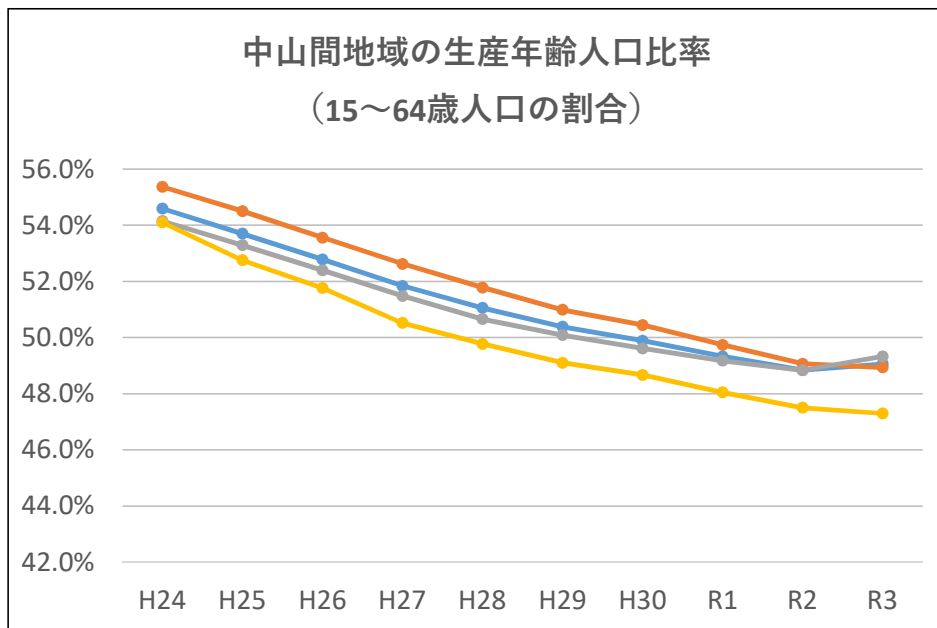
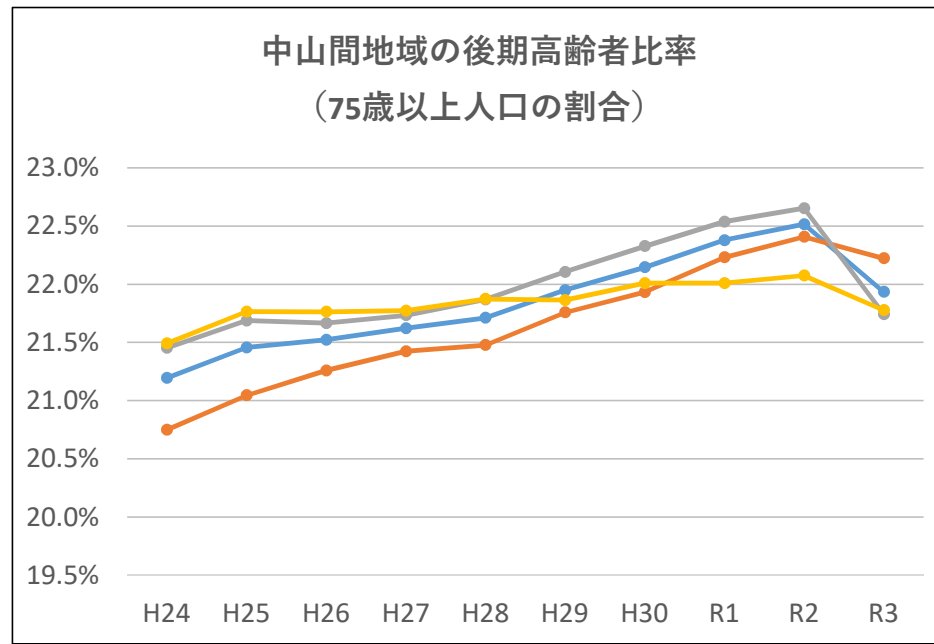
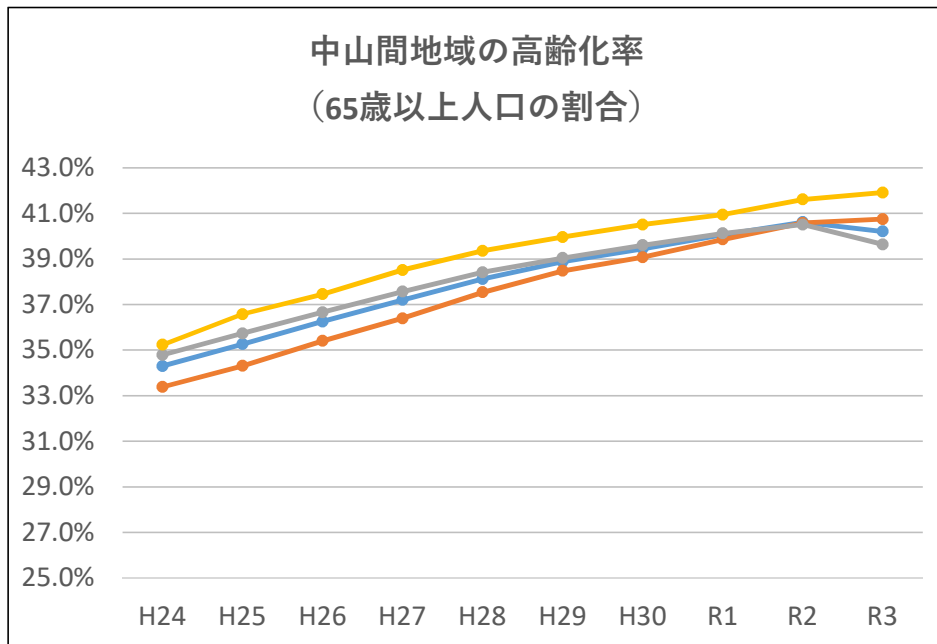


	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	H29→R3増減	H24→R3増減
松江市	16,648	16,412	16,246	15,993	25,548	25,200	24,984	24,648	24,216	29,975	18.95%	80.05%
浜田市	59,188	58,667	57,899	57,043	56,269	55,588	54,689	53,840	52,966	52,139	▲ 6.20%	▲ 11.91%
出雲市	23,747	23,471	23,235	22,923	26,587	26,230	25,826	25,334	24,770	29,424	12.18%	23.91%
益田市	17,115	16,787	16,471	16,113	15,782	15,424	15,063	14,677	14,358	45,288	193.62%	164.61%
大田市	38,293	38,074	37,537	36,976	36,370	35,762	35,206	34,680	34,119	33,592	▲ 6.07%	▲ 12.28%
安来市	12,982	12,791	12,549	12,374	16,825	16,455	16,145	15,843	15,487	18,692	13.59%	43.98%
江津市	25,527	25,478	25,155	24,846	24,491	24,133	23,836	23,551	23,250	22,857	▲ 5.29%	▲ 10.46%
雲南市	42,216	41,848	41,243	40,786	40,295	39,404	38,882	38,120	37,450	36,796	▲ 6.62%	▲ 12.84%
奥出雲町	14,534	14,534	14,298	14,009	13,443	13,094	12,845	12,601	12,361	12,098	▲ 7.61%	▲ 16.76%
飯南町	5,509	5,442	5,303	5,208	5,115	5,029	4,944	4,837	4,771	4,655	▲ 7.44%	▲ 15.50%
川本町	3,702	3,648	3,565	3,484	3,469	3,412	3,361	3,299	3,246	3,181	▲ 6.77%	▲ 14.07%
美郷町	5,302	5,356	5,244	5,143	5,039	4,892	4,750	4,654	4,544	4,446	▲ 9.12%	▲ 16.14%
邑南町	11,842	11,744	11,582	11,406	11,288	11,105	10,901	10,679	10,468	10,274	▲ 7.48%	▲ 13.24%
津和野町	8,369	8,260	8,121	7,978	7,854	7,746	7,533	7,369	7,182	7,035	▲ 9.18%	▲ 15.94%
吉賀町	6,730	6,750	6,635	6,523	6,438	6,337	6,311	6,278	6,202	6,022	▲ 4.97%	▲ 10.52%
海士町	2,320	2,356	2,372	2,354	2,335	2,300	2,283	2,266	2,226	2,266	▲ 1.48%	▲ 2.33%
西ノ島町	3,170	3,145	3,078	3,027	2,936	2,896	2,881	2,819	2,777	2,729	▲ 5.77%	▲ 13.91%
知夫村	607	595	597	587	602	619	635	655	638	627	1.29%	3.29%
隠岐の島町	15,424	15,278	15,053	14,930	14,750	14,561	14,402	14,166	13,925	13,885	▲ 4.64%	▲ 9.98%
中山間地域計	313,225	310,636	306,183	301,703	315,436	310,187	305,477	300,316	294,956	335,981	8.32%	7.27%

※人口は各年4月末時点の住民基本台帳より

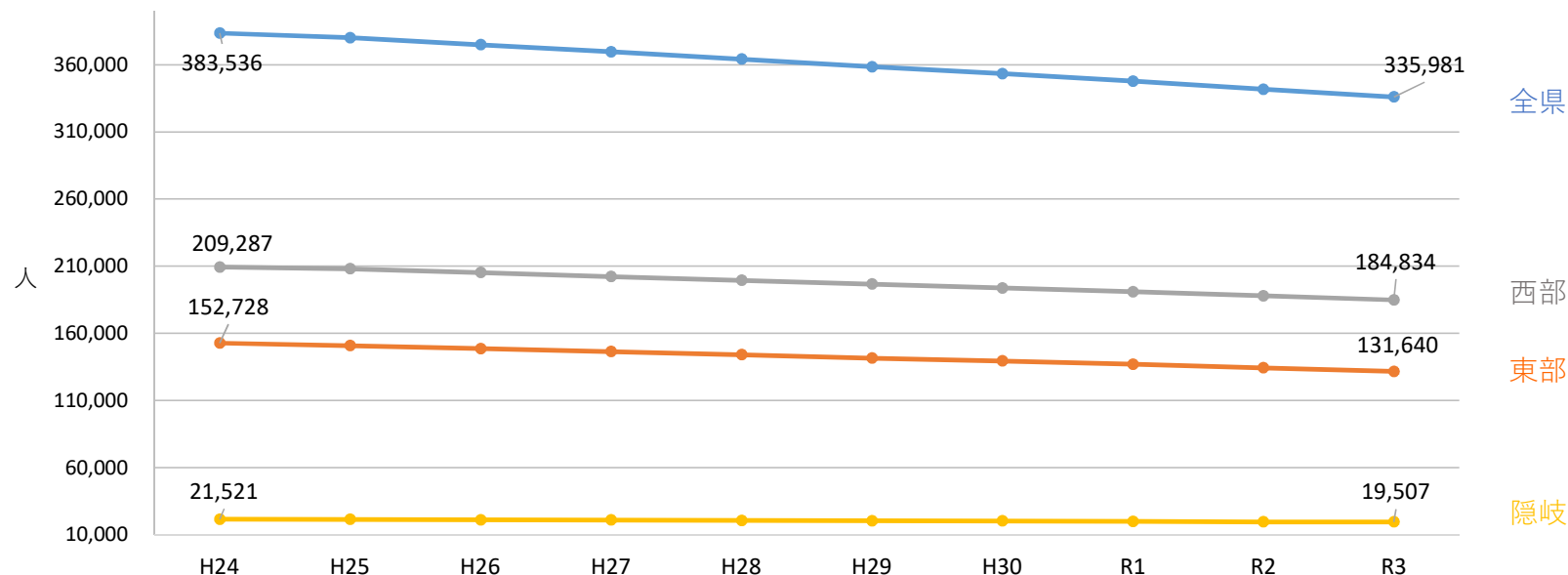
※H28年、R3年は、中山間地域の区域変更(拡大)があったため、人口が増加している

## 2-2 中山間地域の人口等関連データの推移



凡例 — 全県 — 東部 — 西部 — 隠岐

### 3-1 中山間地域の人口推移（R3年度の中山間地域の人口推移）

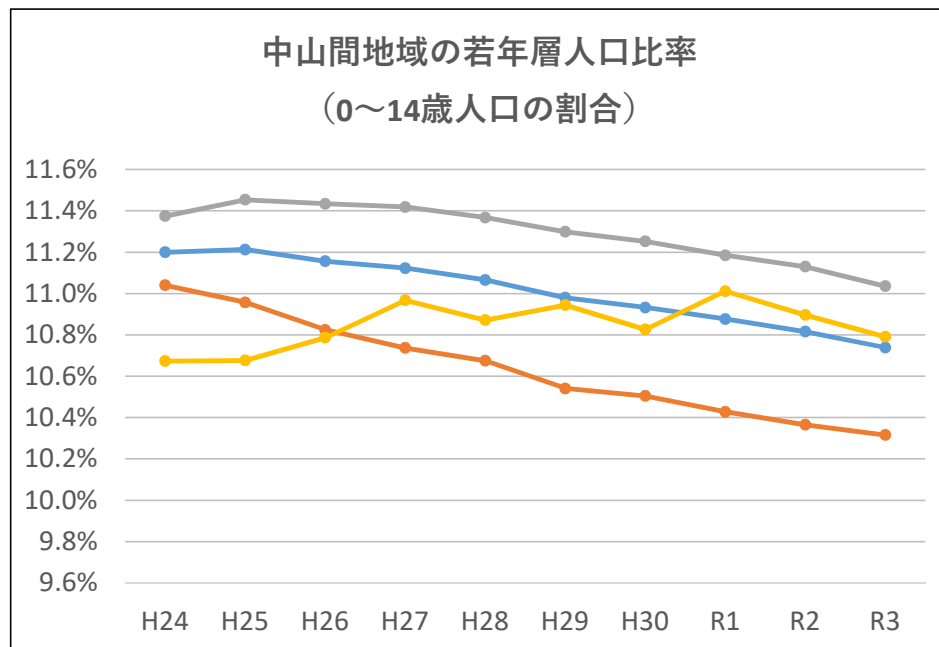
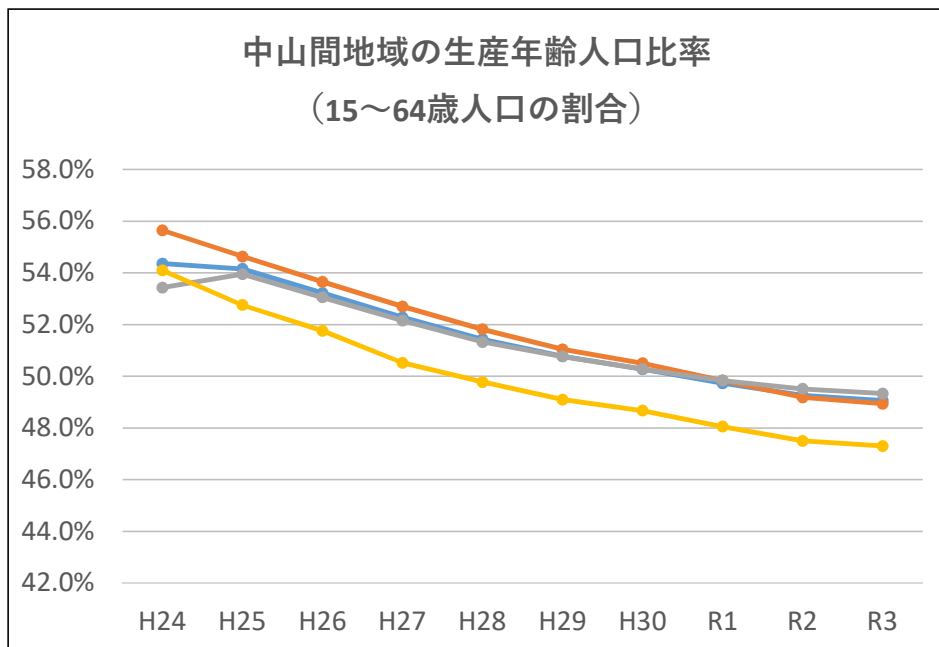
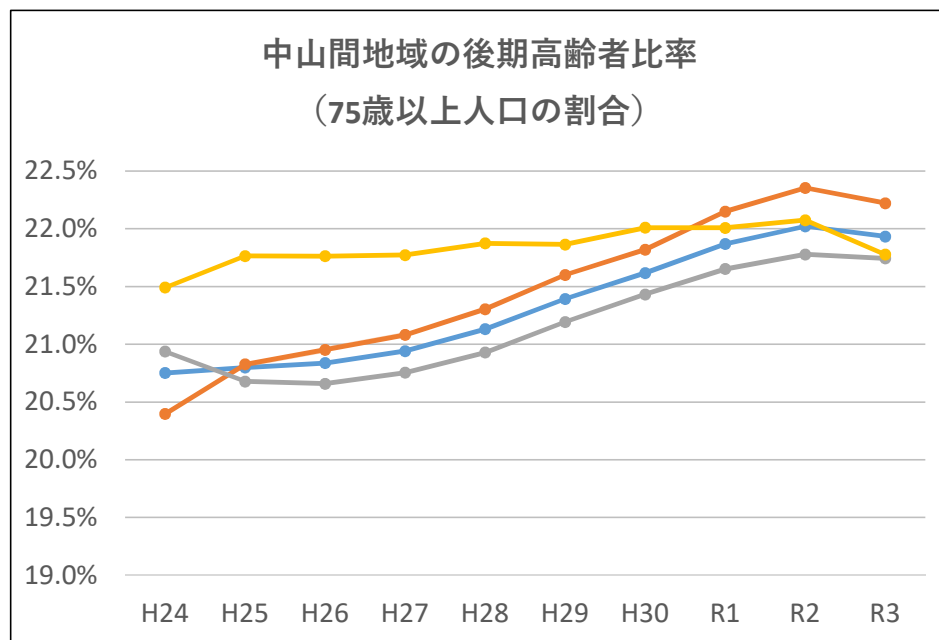
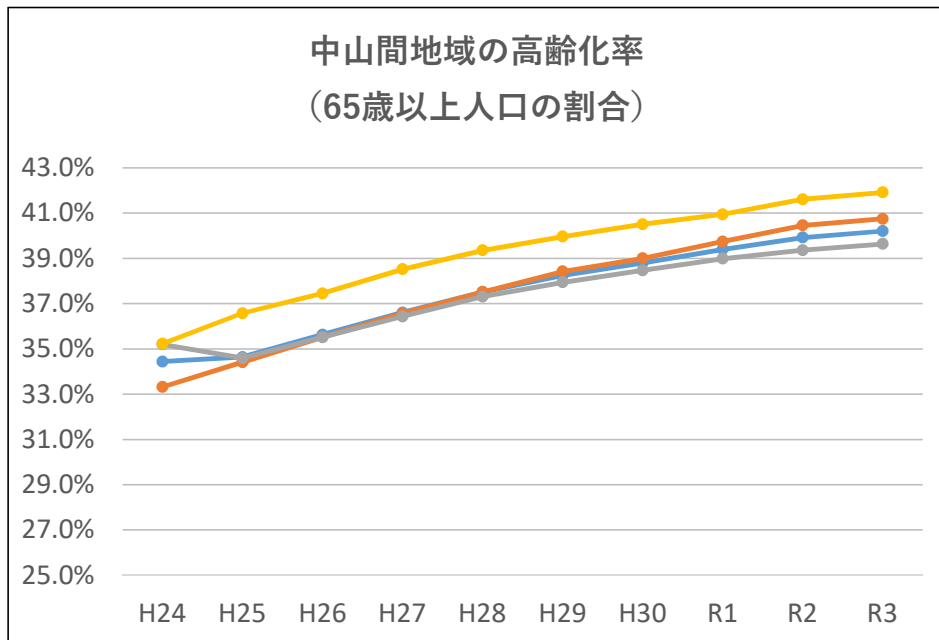


	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	H29→R3増減	H24→R3増減
松江市	34,358	33,805	33,417	32,872	32,363	31,912	31,626	31,113	30,498	29,975	▲ 6.07%	▲ 12.76%
浜田市	59,188	58,667	57,899	57,043	56,269	55,588	54,689	53,840	52,966	52,139	▲ 6.20%	▲ 11.91%
出雲市	34,037	33,632	33,236	32,754	32,175	31,759	31,245	30,685	30,077	29,424	▲ 7.35%	▲ 13.55%
益田市	50,334	50,042	49,494	48,874	48,241	47,697	47,187	46,575	45,889	45,288	▲ 5.05%	▲ 10.03%
大田市	38,293	38,074	37,537	36,976	36,370	35,762	35,206	34,680	34,119	33,592	▲ 6.07%	▲ 12.28%
安来市	22,074	21,734	21,379	21,087	20,671	20,257	19,892	19,551	19,152	18,692	▲ 7.73%	▲ 15.32%
江津市	25,527	25,478	25,155	24,846	24,491	24,133	23,836	23,551	23,250	22,857	▲ 5.29%	▲ 10.46%
雲南市	42,216	41,848	41,243	40,786	40,295	39,404	38,882	38,120	37,450	36,796	▲ 6.62%	▲ 12.84%
奥出雲町	14,534	14,279	14,009	13,727	13,443	13,094	12,845	12,601	12,361	12,098	▲ 7.61%	▲ 16.76%
飯南町	5,509	5,442	5,303	5,208	5,115	5,029	4,944	4,837	4,771	4,655	▲ 7.44%	▲ 15.50%
川本町	3,702	3,648	3,565	3,484	3,469	3,412	3,361	3,299	3,246	3,181	▲ 6.77%	▲ 14.07%
美郷町	5,302	5,356	5,244	5,143	5,039	4,892	4,750	4,654	4,544	4,446	▲ 9.12%	▲ 16.14%
邑南町	11,842	11,744	11,582	11,406	11,288	11,105	10,901	10,679	10,468	10,274	▲ 7.48%	▲ 13.24%
津和野町	8,369	8,260	8,121	7,978	7,854	7,746	7,533	7,369	7,182	7,035	▲ 9.18%	▲ 15.94%
吉賀町	6,730	6,750	6,635	6,523	6,438	6,337	6,311	6,278	6,202	6,022	▲ 4.97%	▲ 10.52%
海士町	2,320	2,356	2,372	2,354	2,335	2,300	2,283	2,266	2,226	2,266	▲ 1.48%	▲ 2.33%
西ノ島町	3,170	3,145	3,078	3,027	2,936	2,896	2,881	2,819	2,777	2,729	▲ 5.77%	▲ 13.91%
知夫村	607	595	597	587	602	619	635	655	638	627	1.29%	3.29%
隠岐の島町	15,424	15,278	15,053	14,930	14,750	14,561	14,402	14,166	13,925	13,885	▲ 4.64%	▲ 9.98%
中山間地域計	383,536	380,133	374,919	369,605	364,144	358,503	353,409	347,738	341,741	335,981	▲ 6.28%	▲ 12.40%

※人口は各年4月末時点の住民基本台帳より

### 3-2 中山間地域の人口等関連データの推移（R3年度の中山間地域の推移）

5

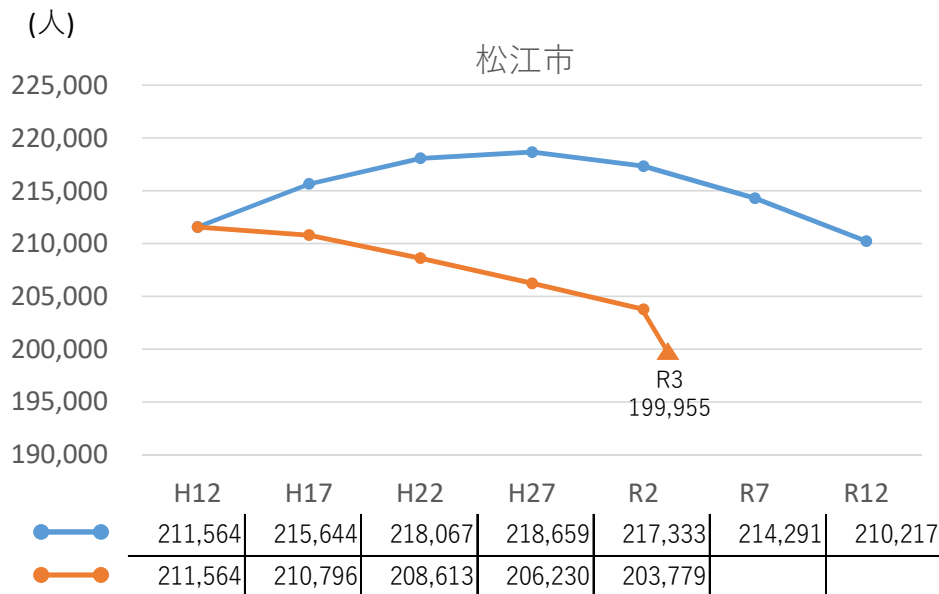


凡例 — 全県 — 東部 — 西部 — 隠岐

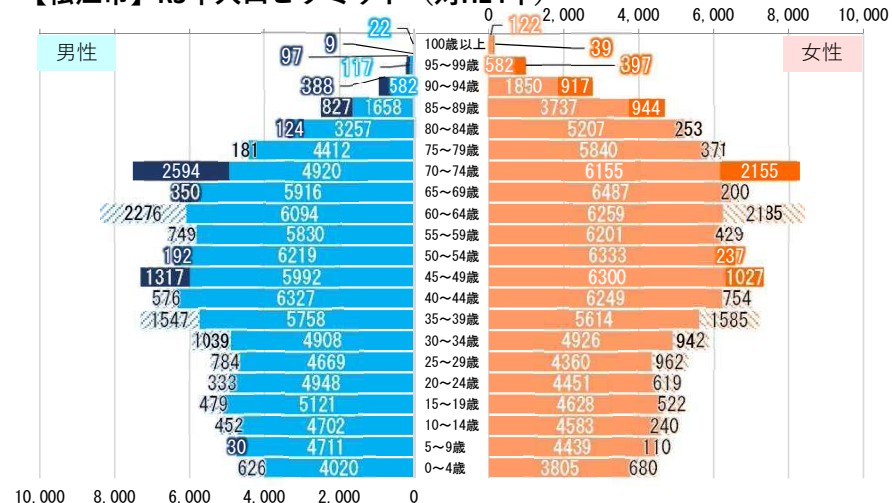
# 松江市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

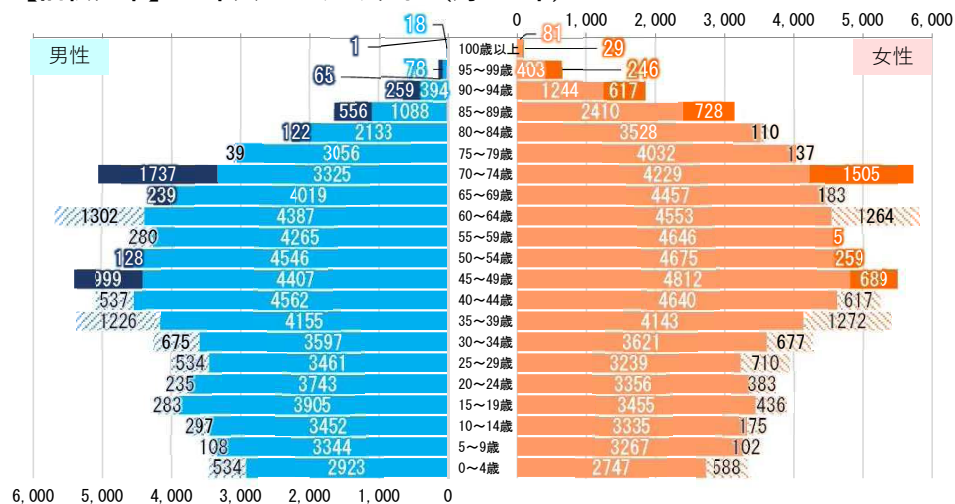
- ✕ H24年からの増加数（男性）
- ✕ H24年からの増加数（女性）
- ✕ H24年からの減少数（男性）
- ✕ H24年からの減少数（女性）



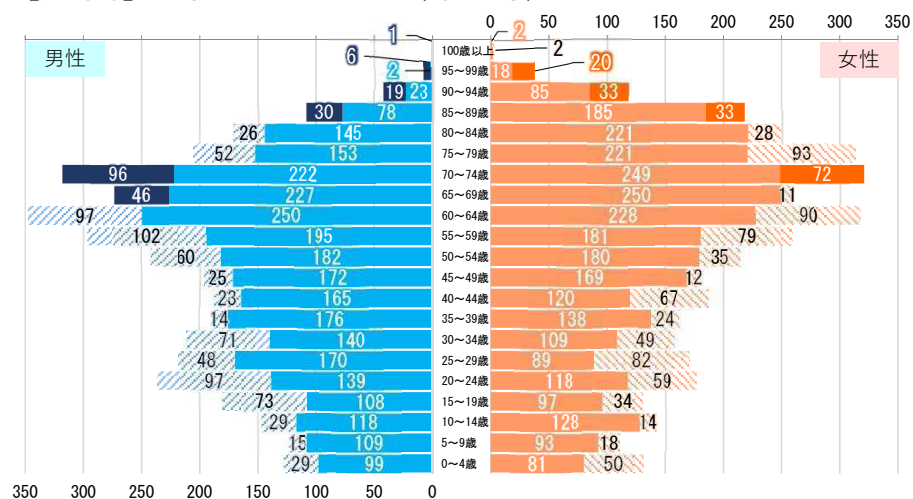
【松江市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧松江市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【鹿島町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成



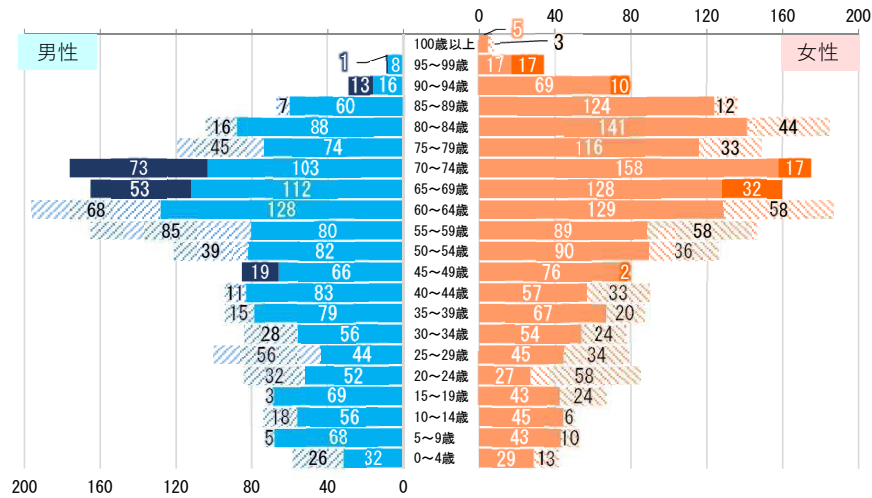
■ H24年からの増加数 (男性)

▨ H24年からの減少数 (男性)

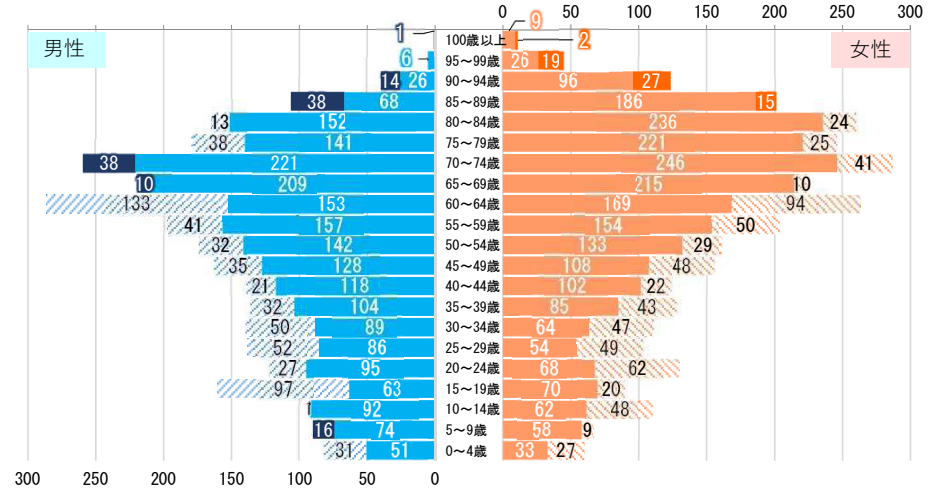
■ H24年からの増加数 (女性)

▨ H24年からの減少数 (女性)

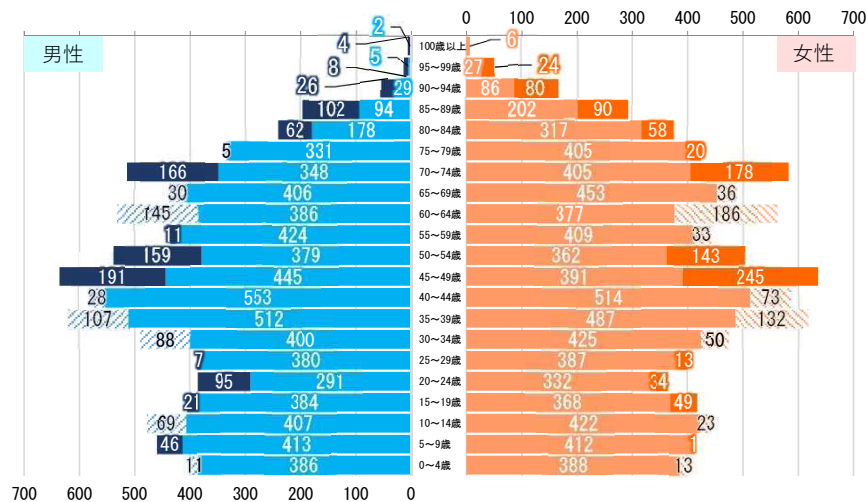
【島根町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



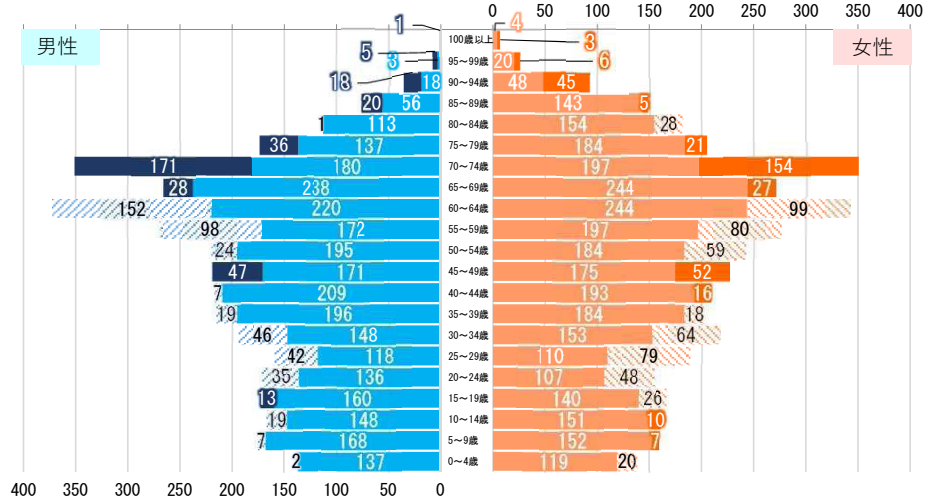
【美保関町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【東出雲町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【八雲村】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

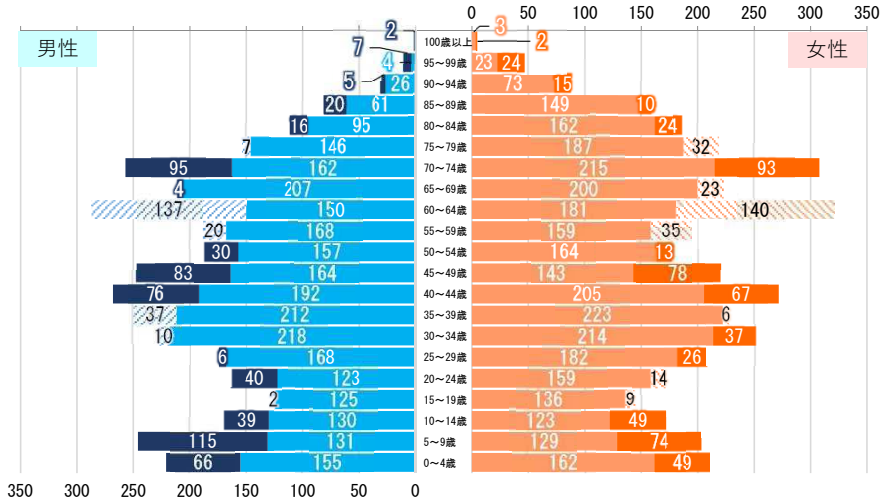
■ H24年からの増加数  
(男性)

▨ H24年からの減少数  
(男性)

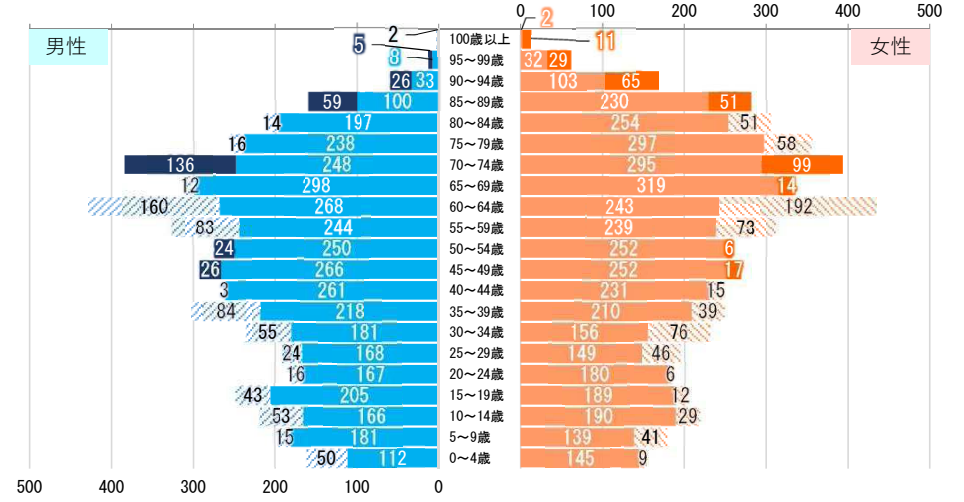
■ H24年からの増加数  
(女性)

▨ H24年からの減少数  
(女性)

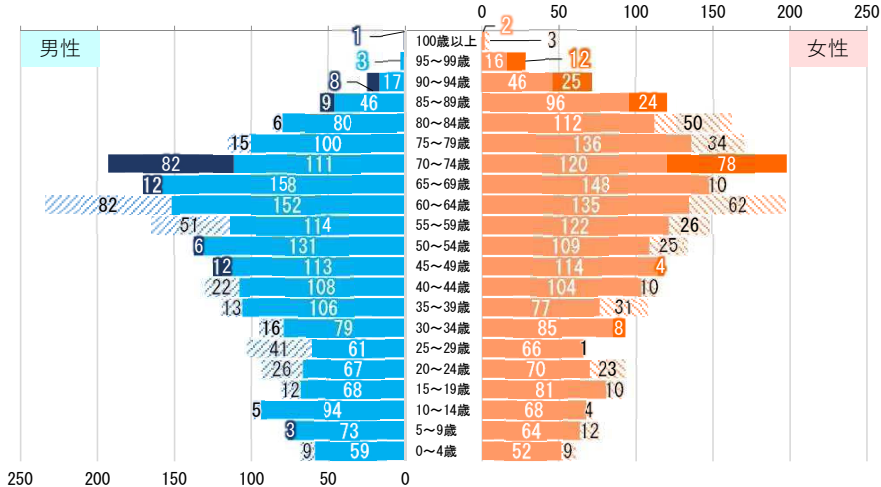
【玉湯町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【穴道町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【八束町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)

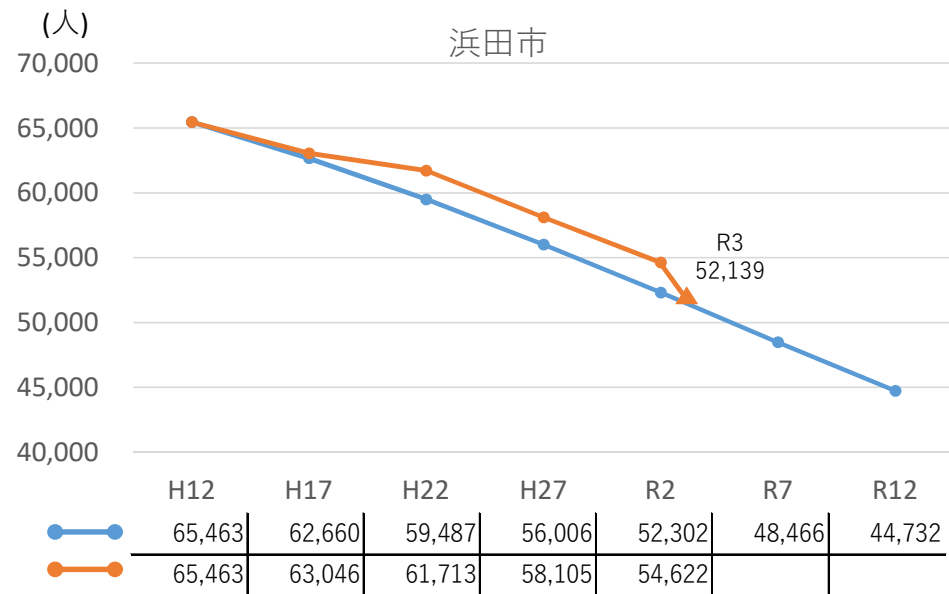


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

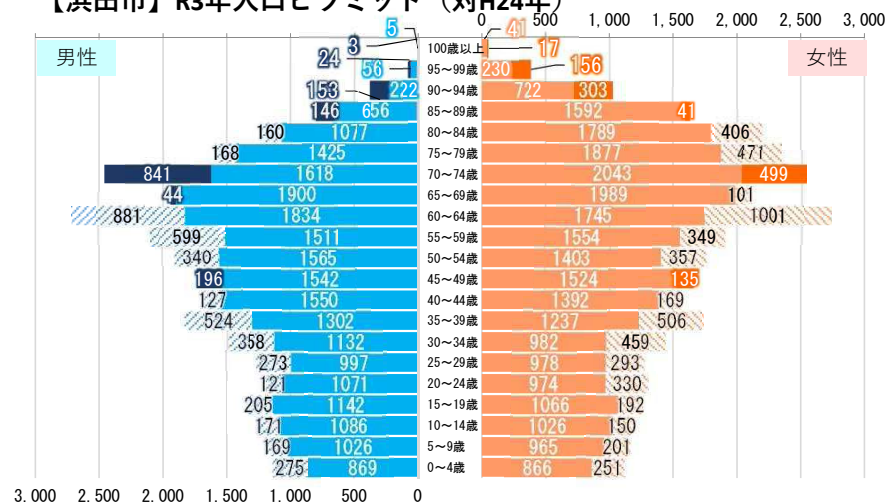
# 浜田市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

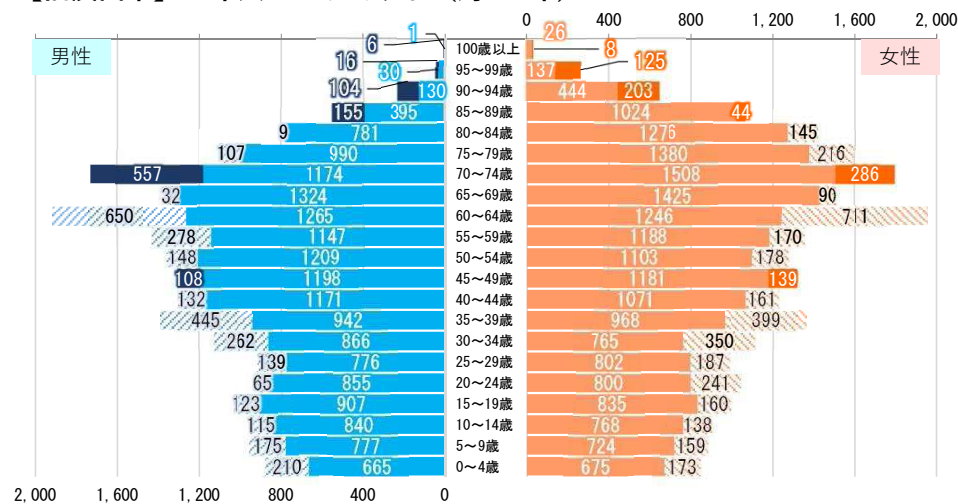
- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- × H24年からの減少数（男性）
- × H24年からの減少数（女性）



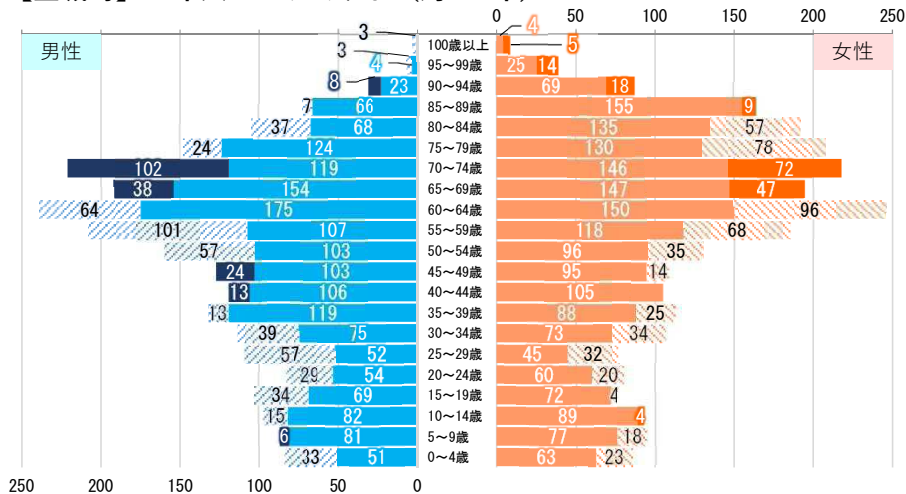
【浜田市】 R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧浜田市】 R3年人口ピラミッド（対H24年）



【金城町】 R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

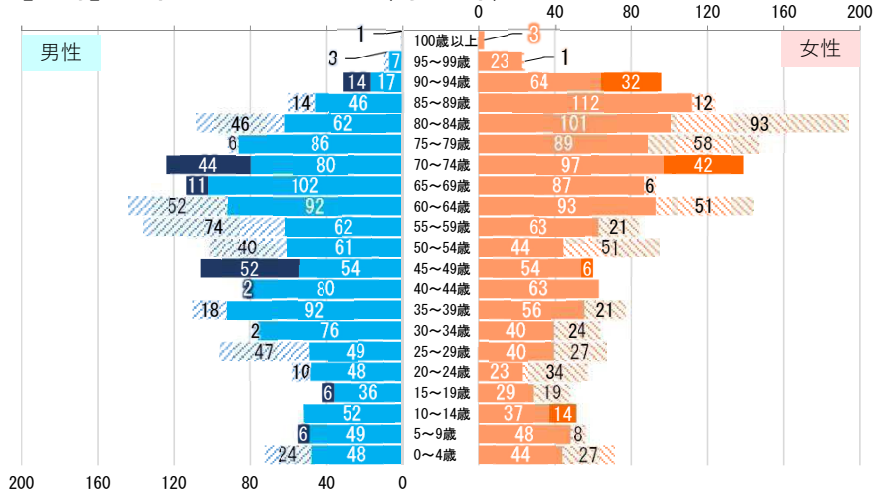
■ x H24年からの増加数  
(男性)

▨ x H24年からの減少数  
(男性)

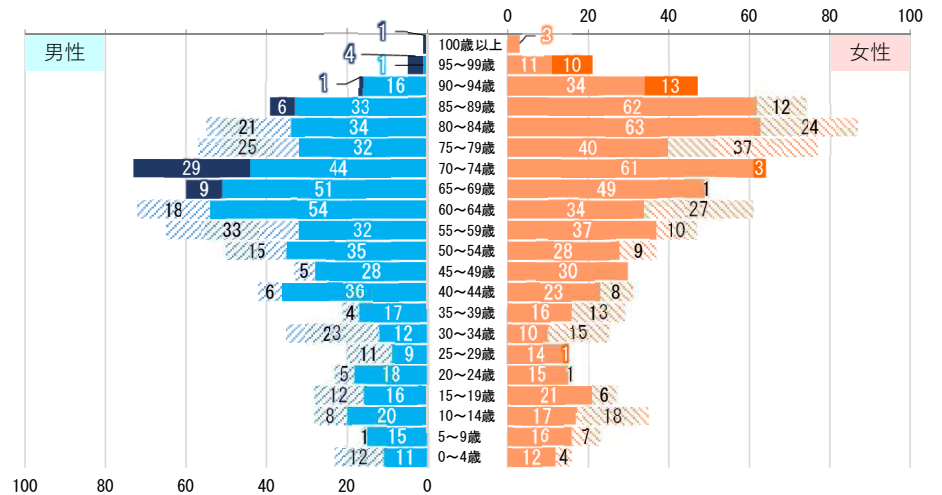
■ x H24年からの増加数  
(女性)

▨ x H24年からの減少数  
(女性)

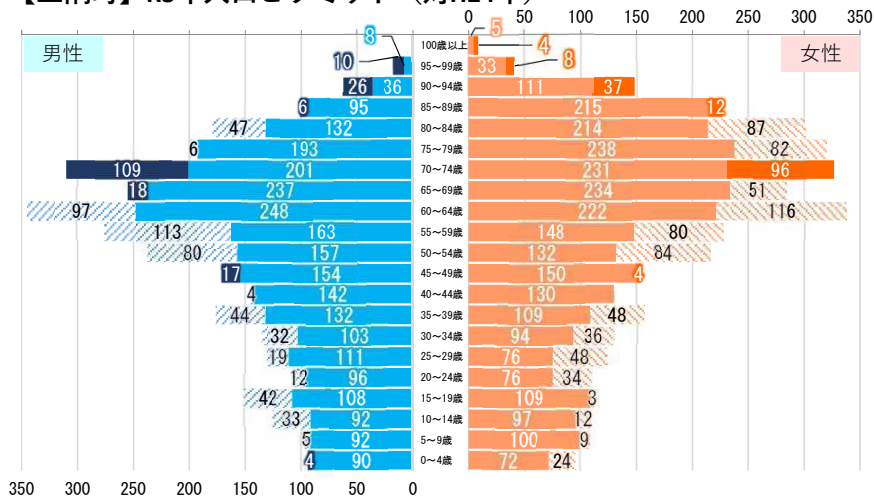
【旭町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【弥栄村】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【三隅町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)

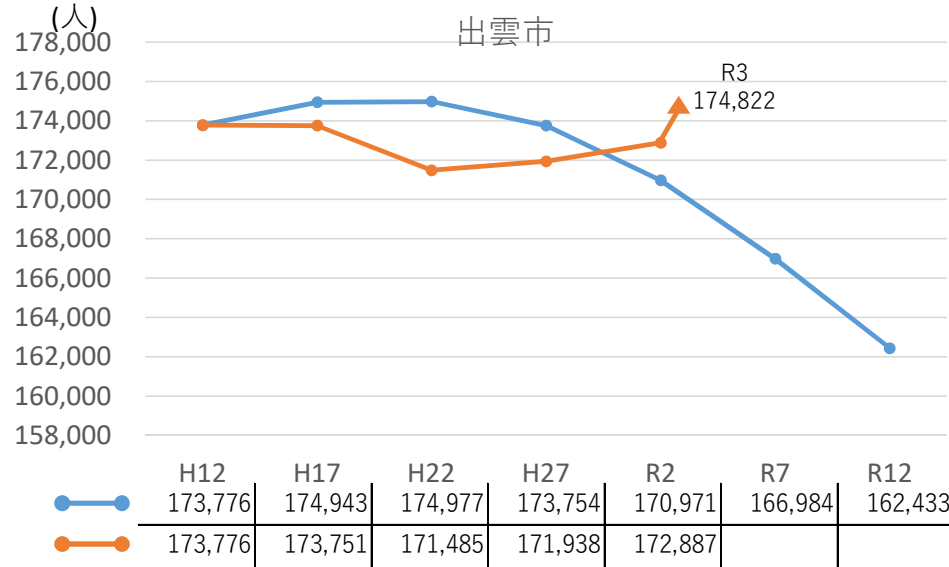


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

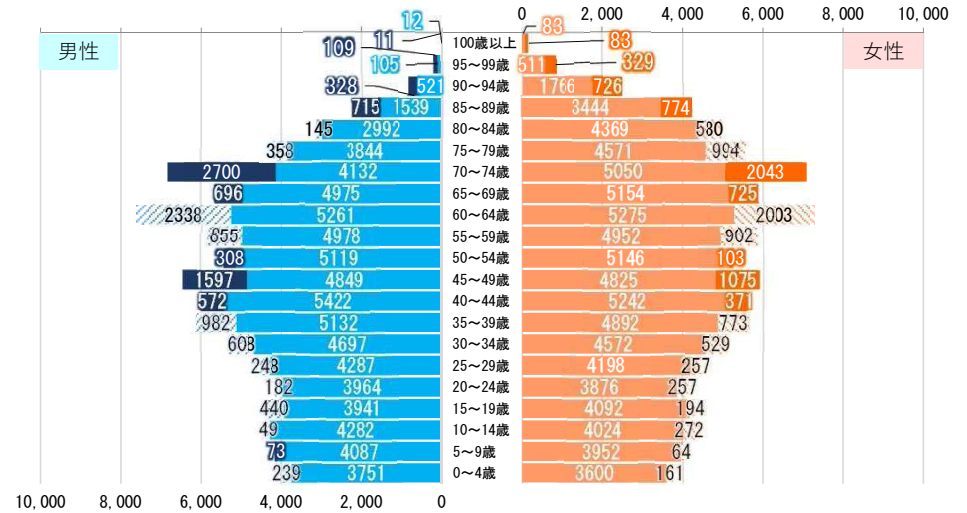
# 出雲市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

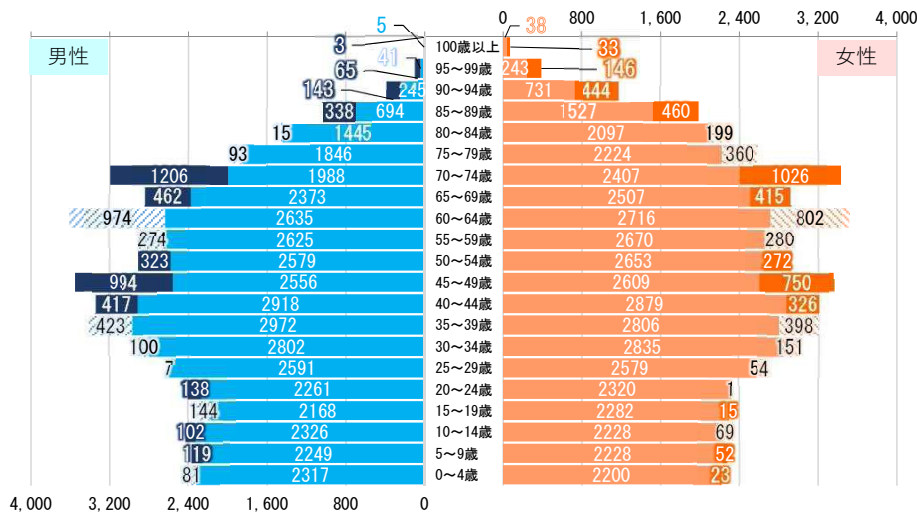
- ✕ H24年からの増加数（男性）
- ✕ H24年からの増加数（女性）
- ✕ H24年からの減少数（男性）
- ✕ H24年からの減少数（女性）



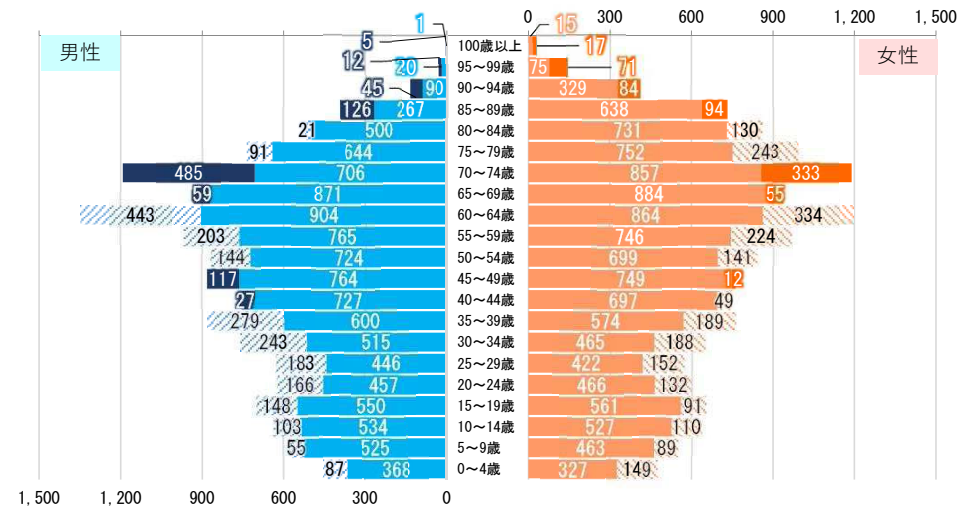
【出雲市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧出雲市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【平田市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

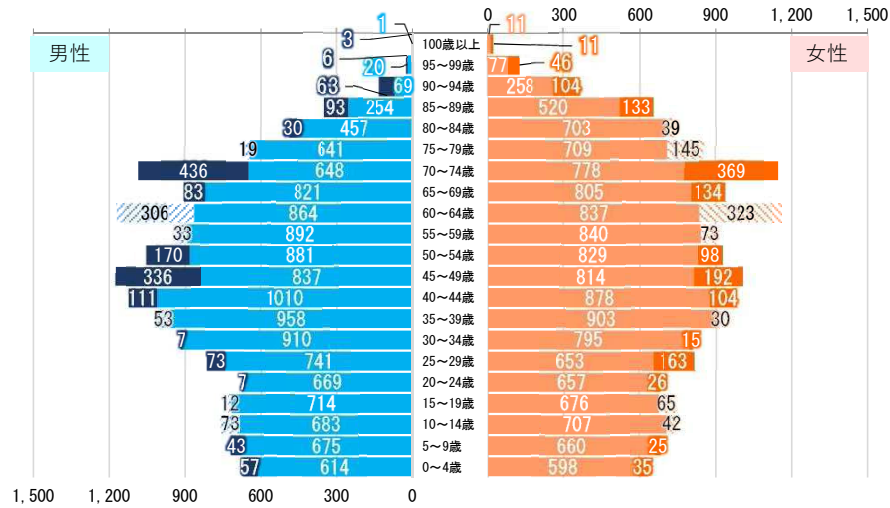
■ x H24年からの増加数  
(男性)

▨ x H24年からの減少数  
(男性)

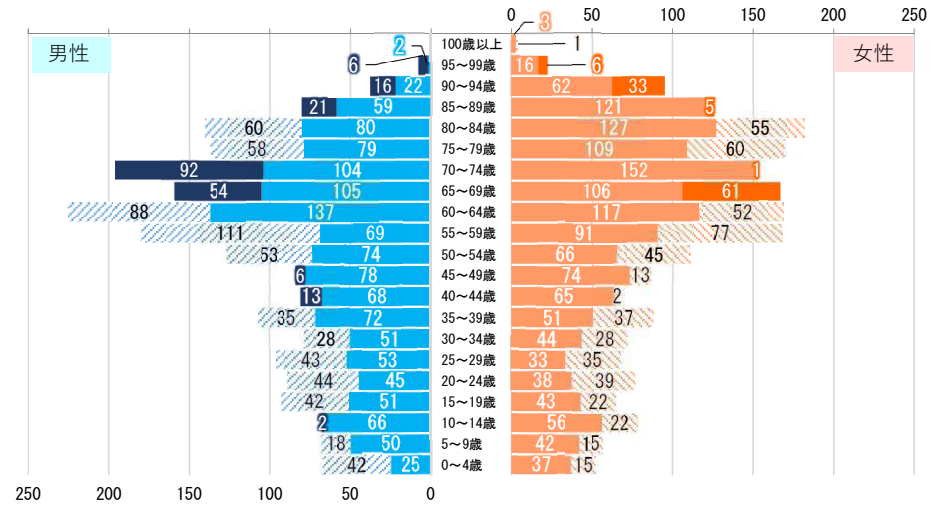
■ x H24年からの増加数  
(女性)

▨ x H24年からの減少数  
(女性)

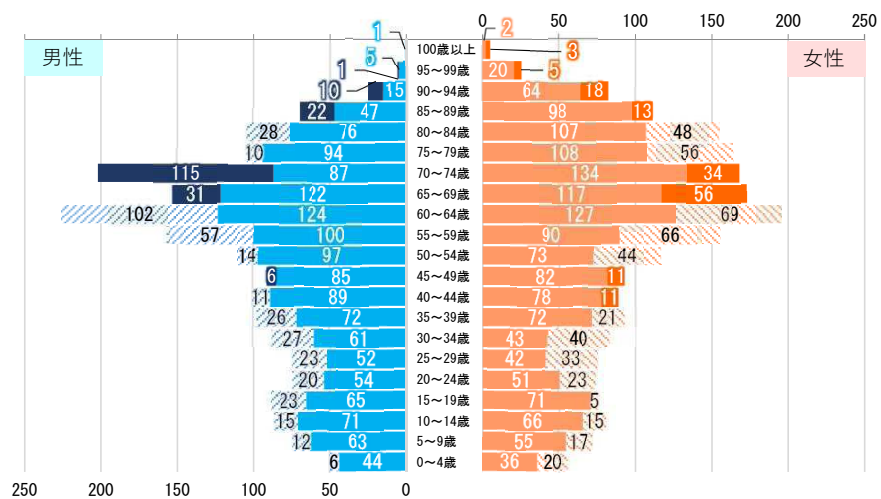
【斐川町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



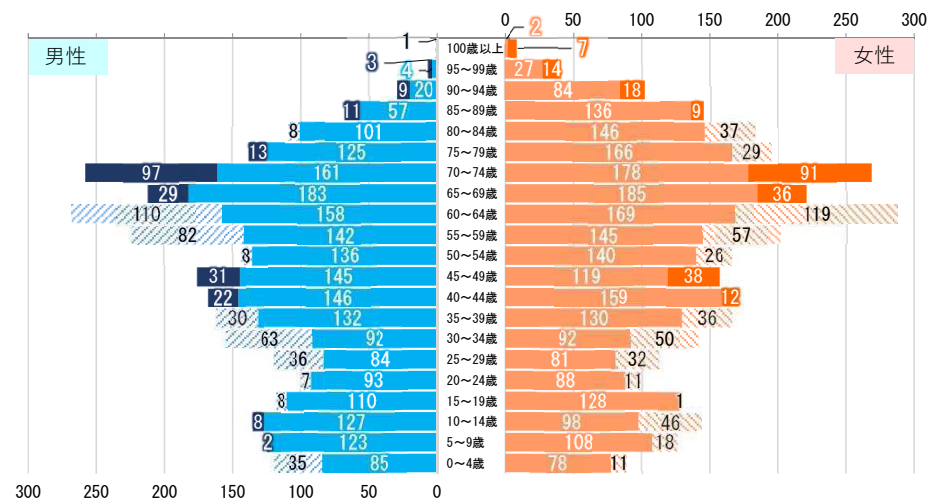
【佐田町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【多伎町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【湖陵町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

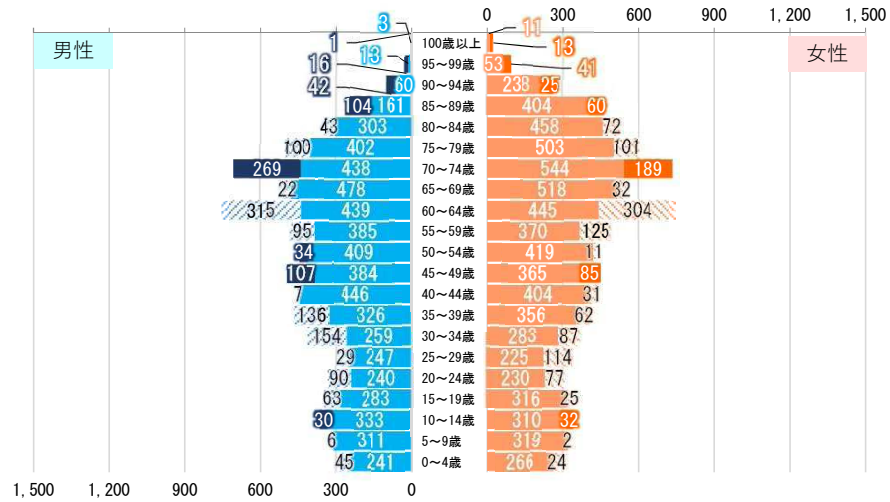
■× H24年からの増加数  
(男性)

■× H24年からの減少数  
(男性)

■× H24年からの増加数  
(女性)

■× H24年からの減少数  
(女性)

【大社町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

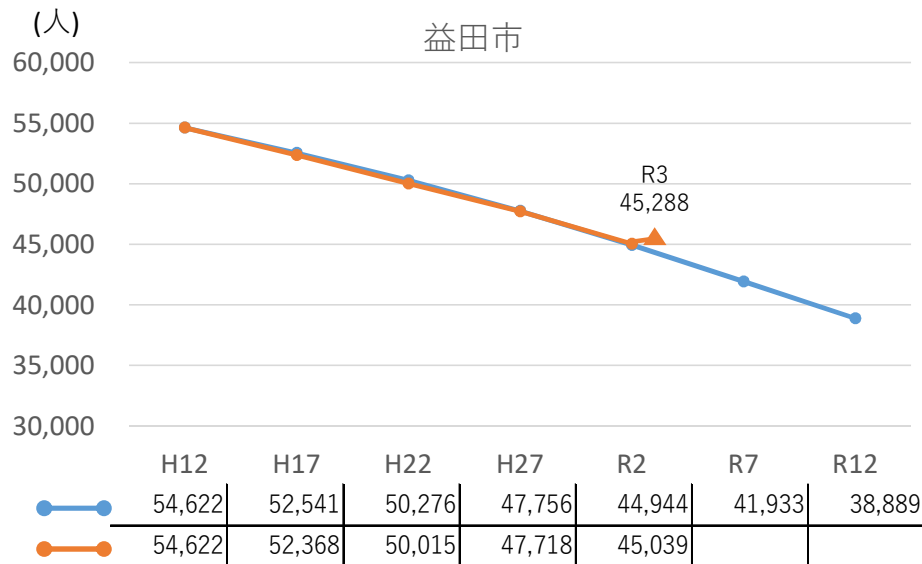


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

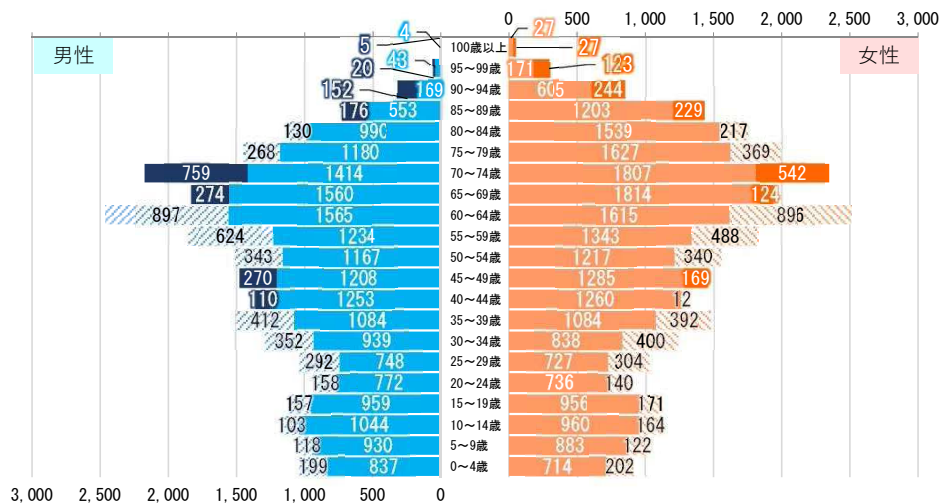
# 益田市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

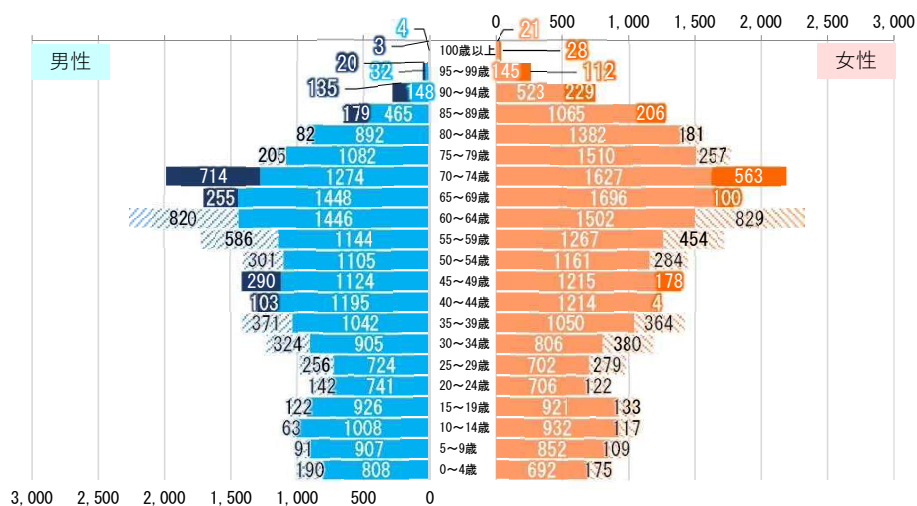
- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- × H24年からの減少数（男性）
- × H24年からの減少数（女性）



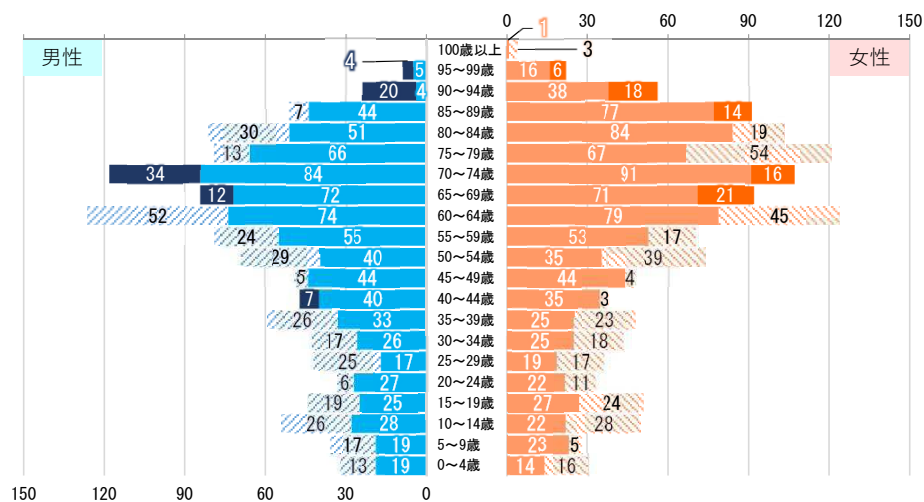
【益田市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧益田市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【美都町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成



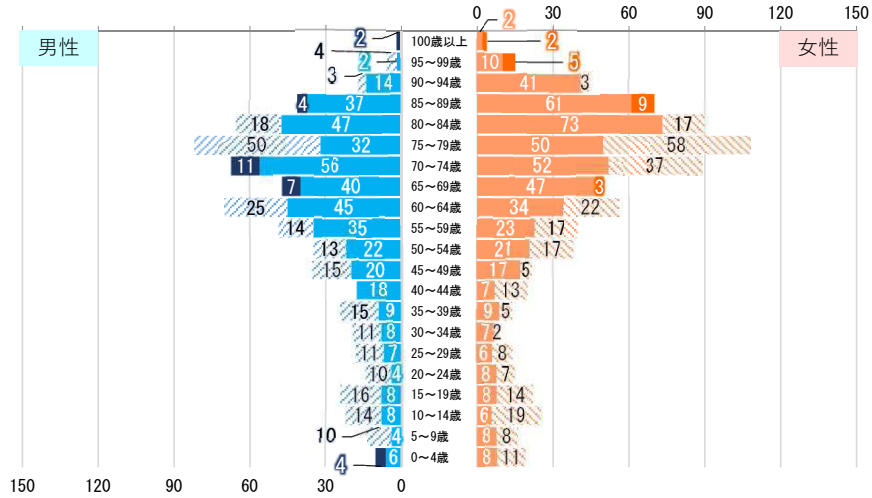
■ H24年からの増加数  
(男性)

▨ H24年からの減少数  
(男性)

■ H24年からの増加数  
(女性)

▨ H24年からの減少数  
(女性)

【匹見町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

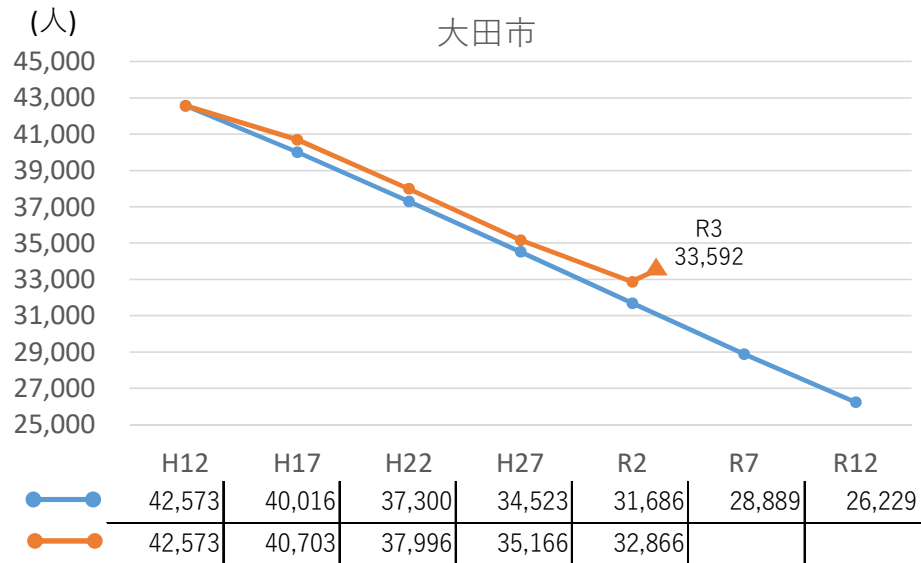


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

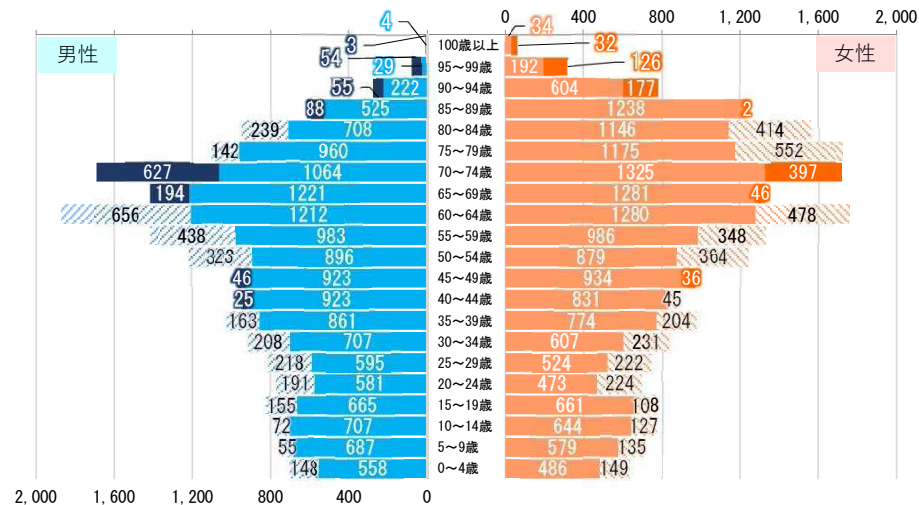
# 大田市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）

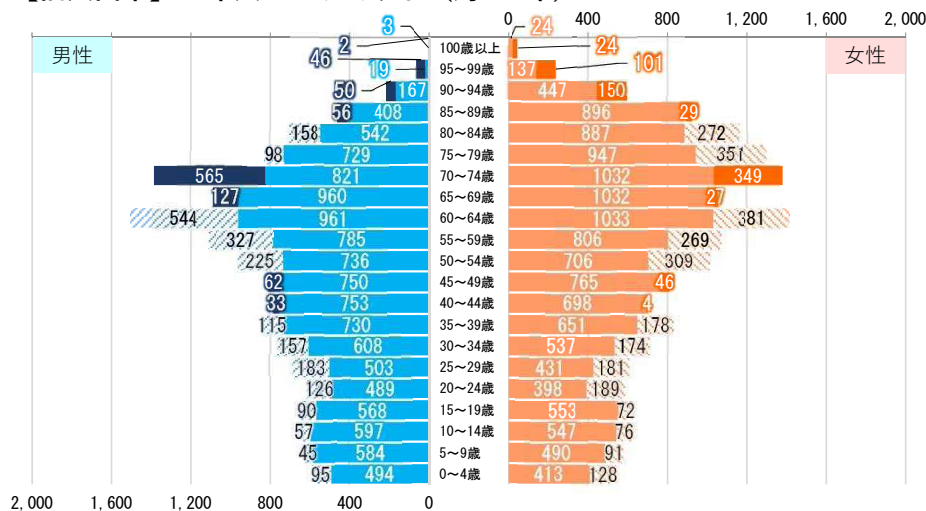


【大田市】R3年人口ピラミッド（対H24年）

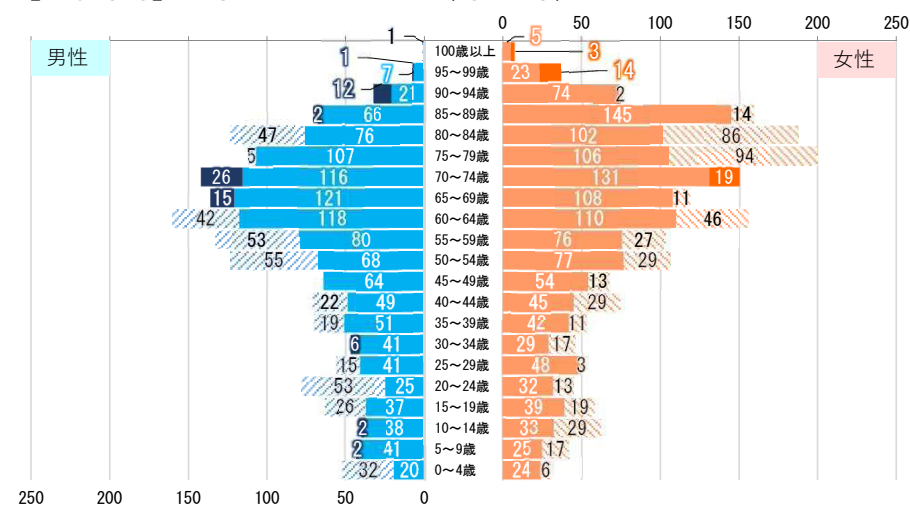


16

【旧大田市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【温泉津町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

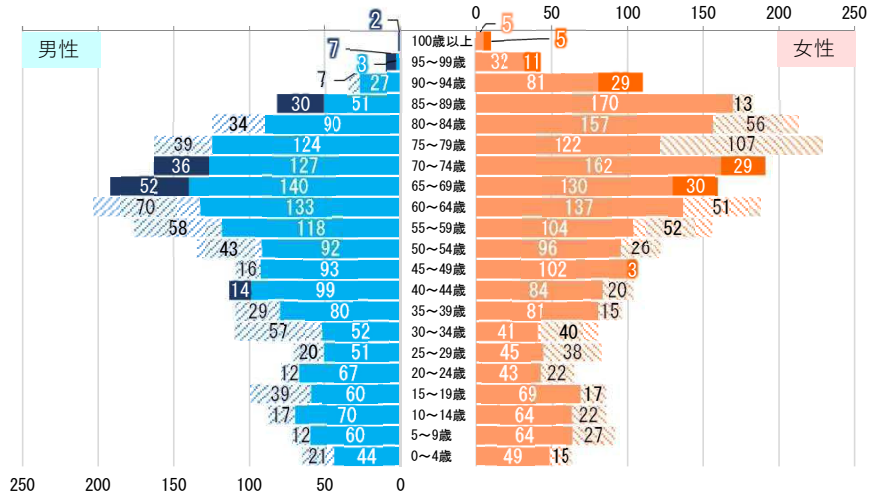
× H24年からの増加数  
(男性)

× H24年からの減少数  
(男性)

× H24年からの増加数  
(女性)

× H24年からの減少数  
(女性)

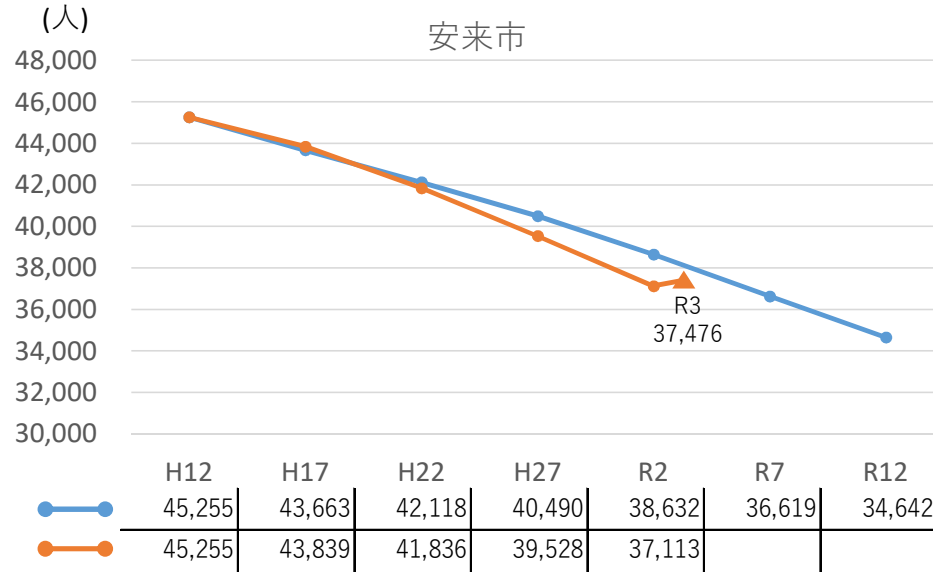
【仁摩町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



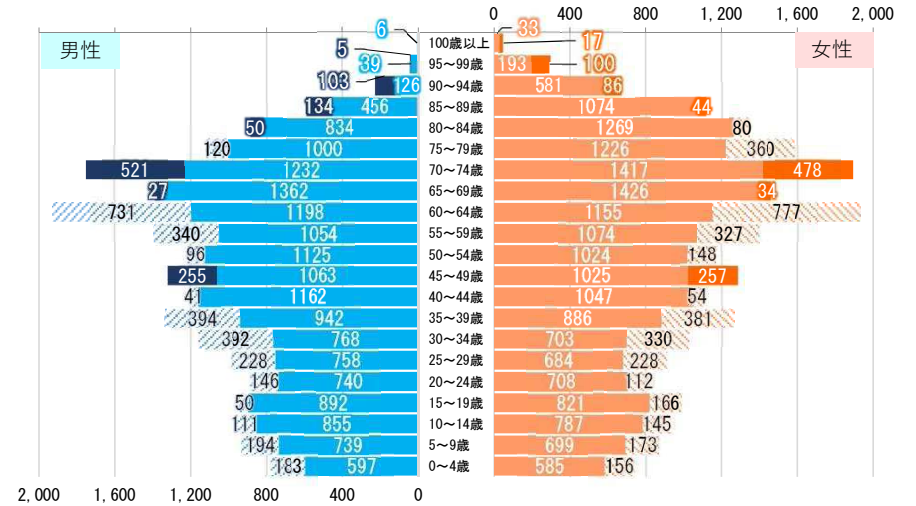
※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

# 安来市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

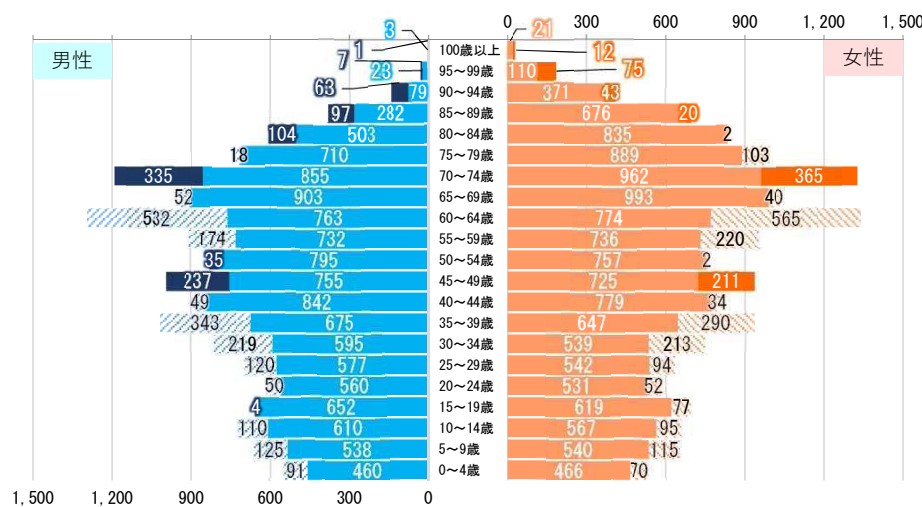
- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳
- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）



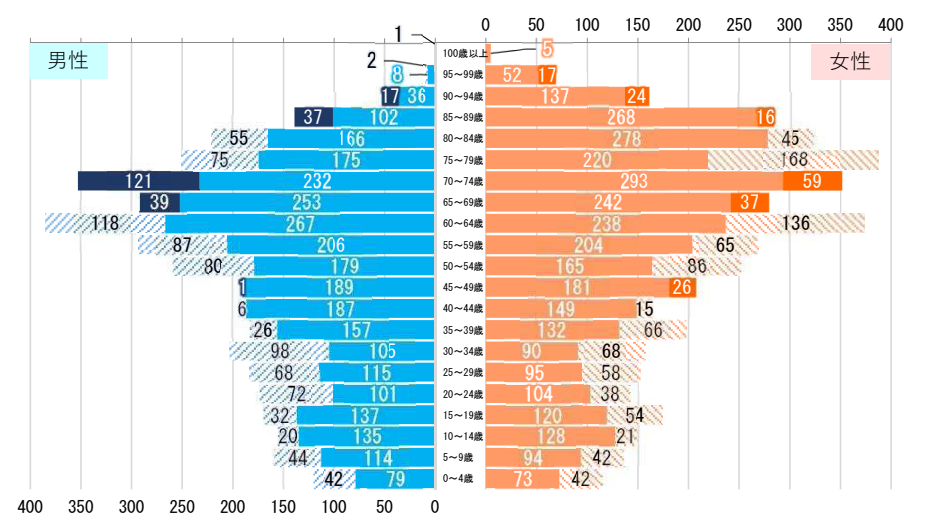
【安来市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧安来市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【広瀬町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

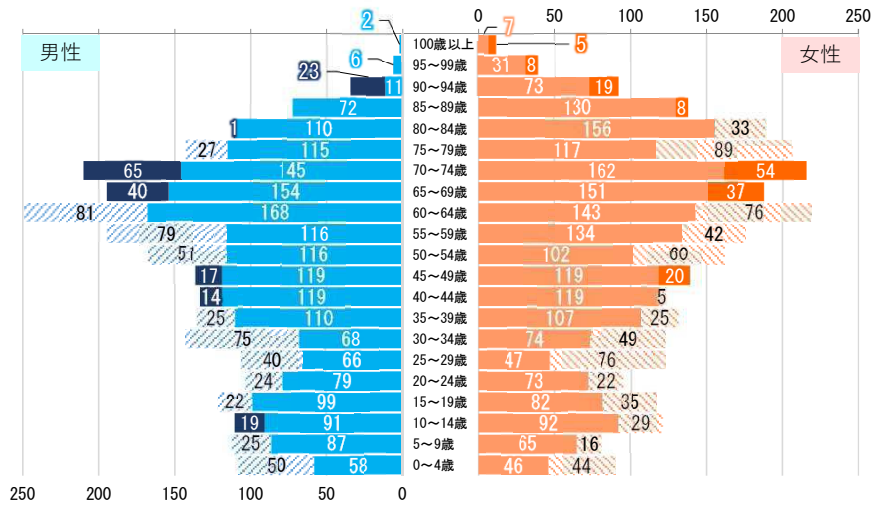
× H24年からの増加数  
(男性)

× H24年からの減少数  
(男性)

× H24年からの増加数  
(女性)

× H24年からの減少数  
(女性)

【伯太町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

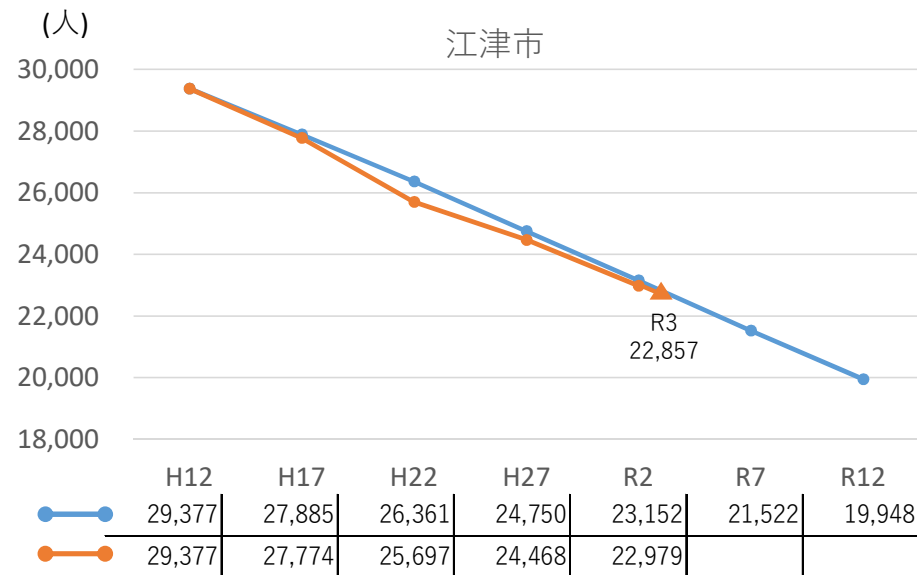


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

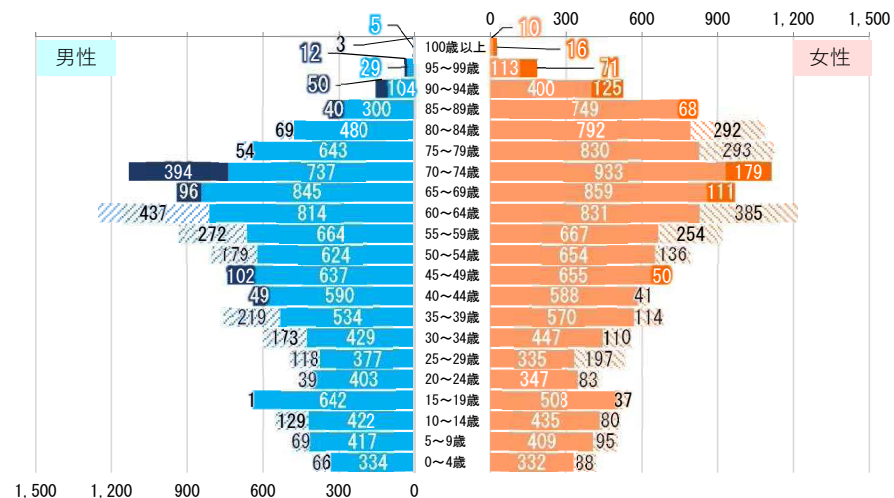
# 江津市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

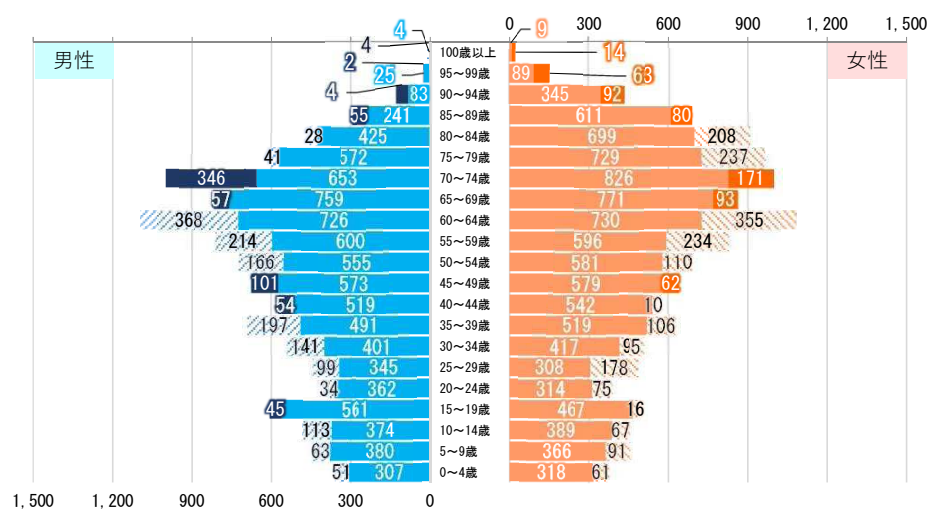
- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- × H24年からの減少数（男性）
- × H24年からの減少数（女性）



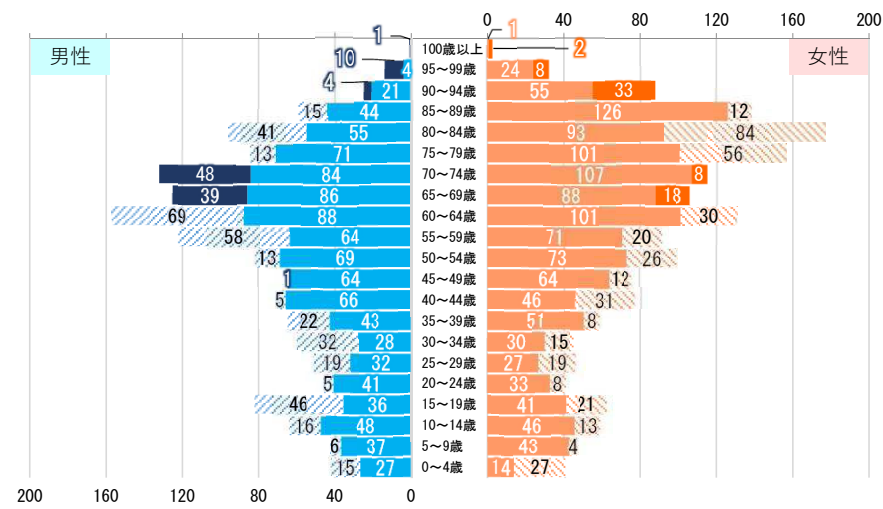
【江津市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧江津市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【桜江町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

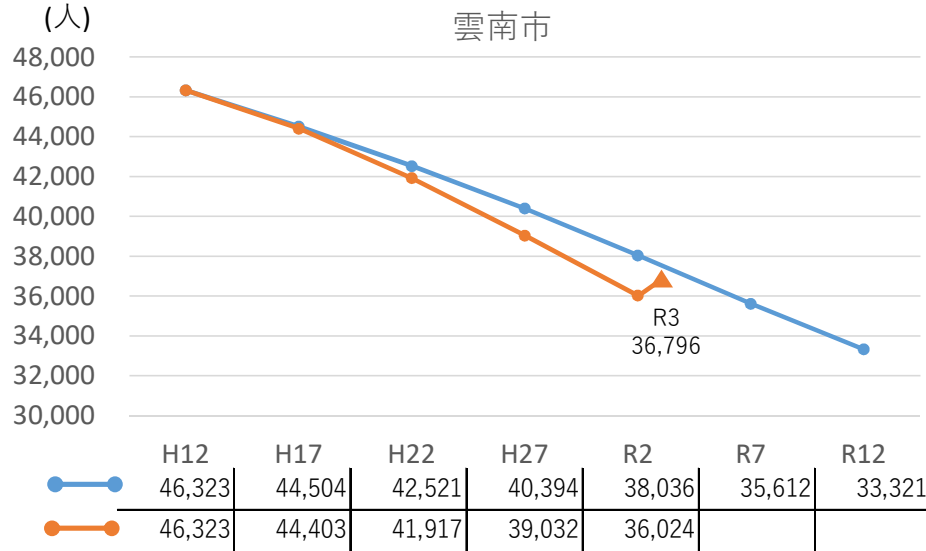


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

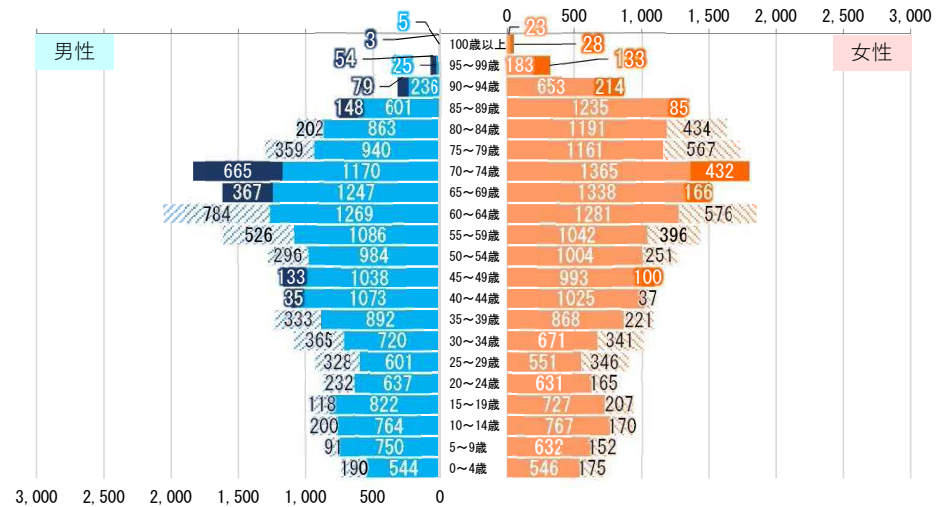
# 雲南市 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

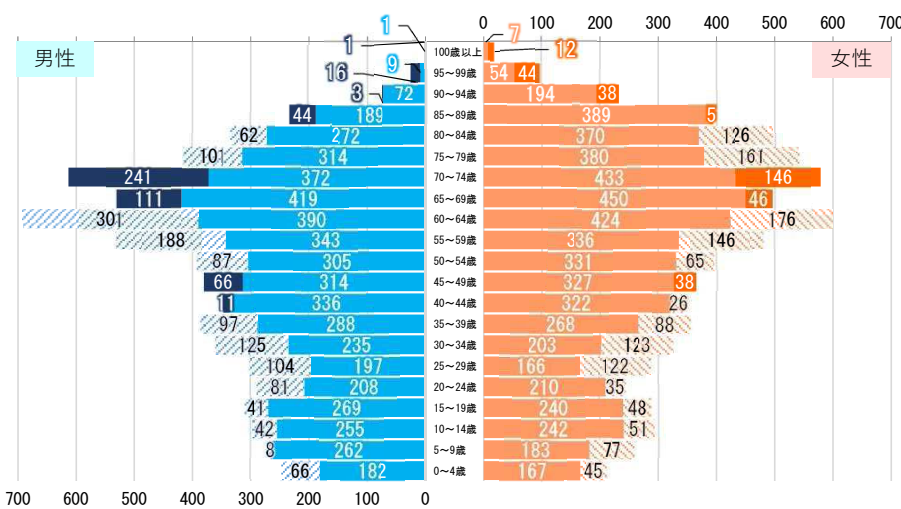
- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- × H24年からの減少数（男性）
- × H24年からの減少数（女性）



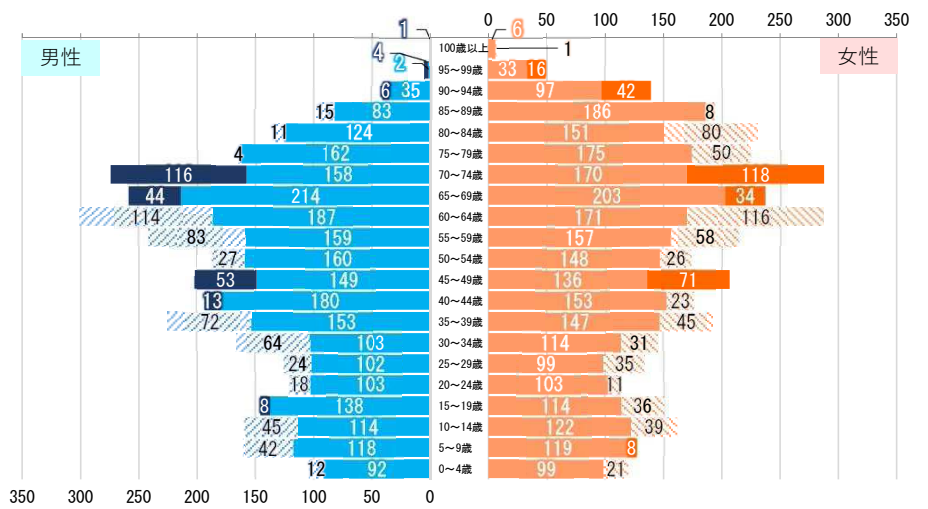
【雲南市】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【大東町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【加茂町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

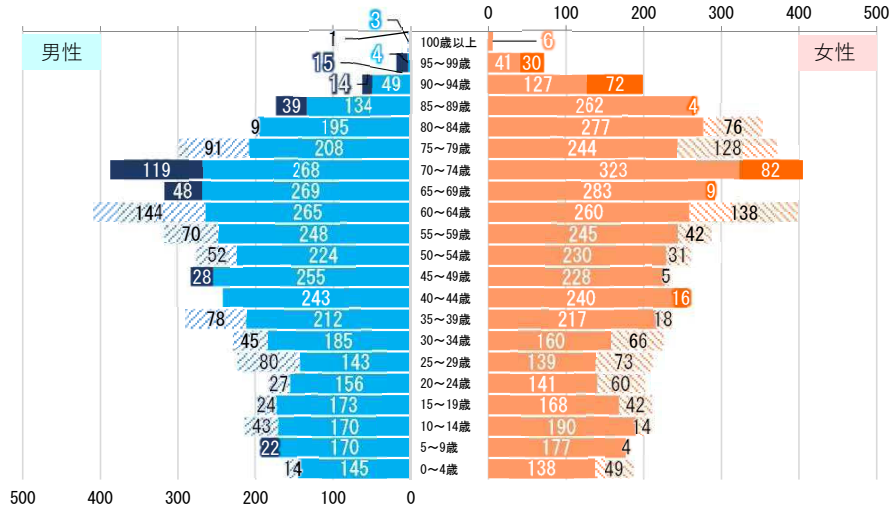
■ x H24年からの増加数  
(男性)

▨ x H24年からの減少数  
(男性)

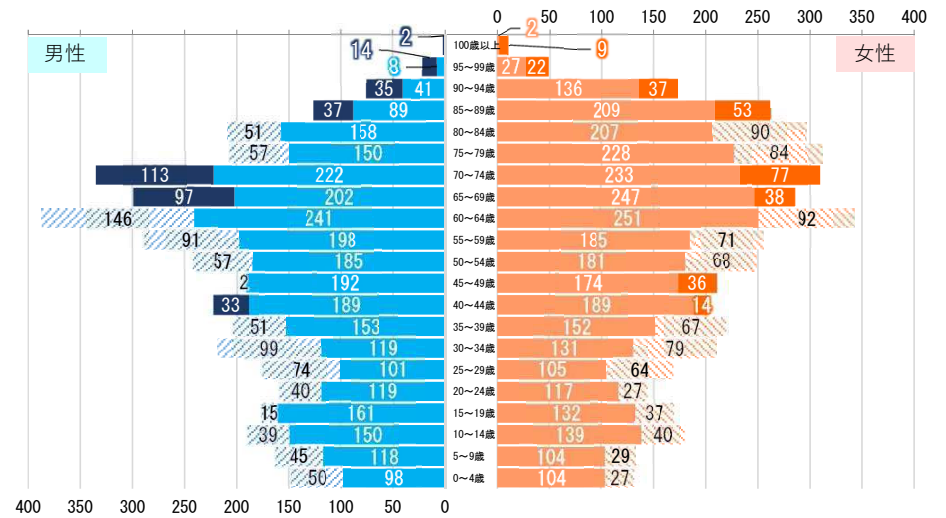
■ x H24年からの増加数  
(女性)

▨ x H24年からの減少数  
(女性)

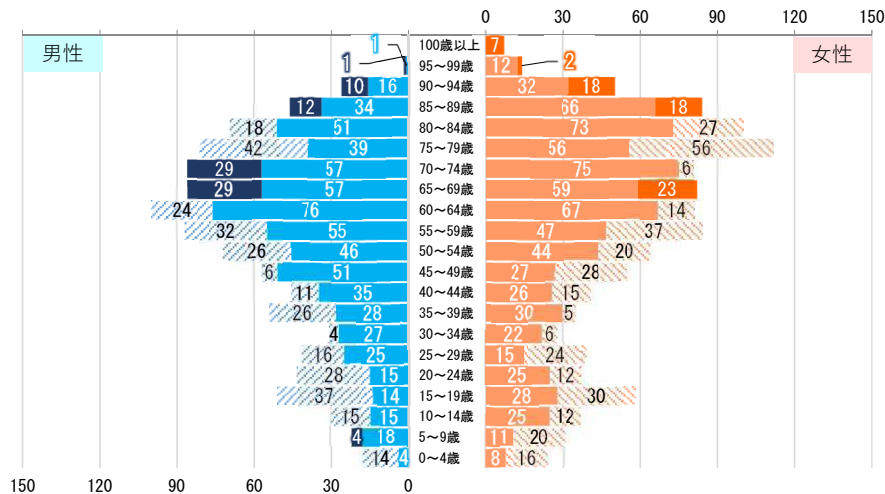
【木次町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



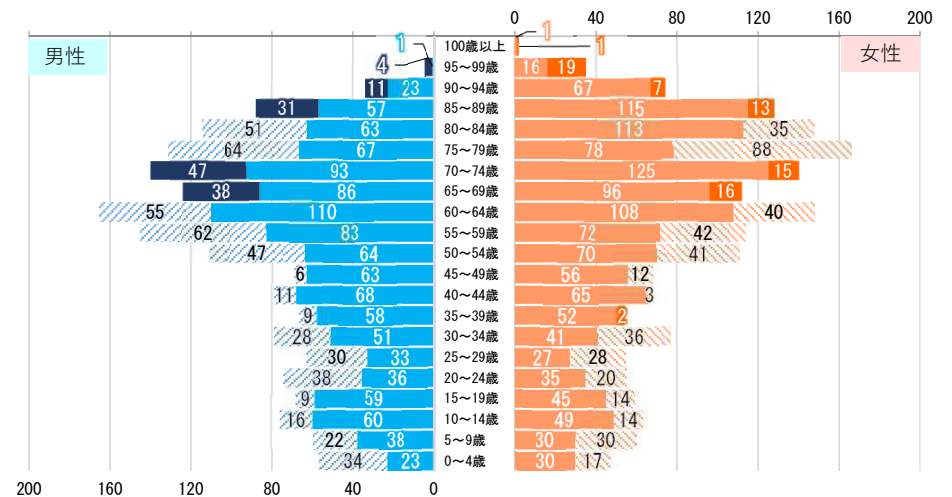
【三刀屋町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【吉田村】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



【掛合町】 R3年人口ピラミッド (対H24年)



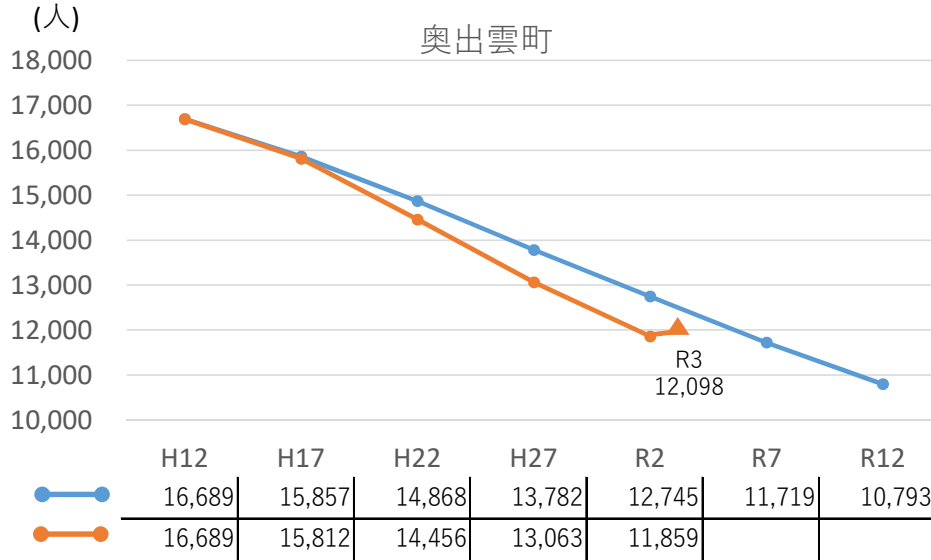
※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成



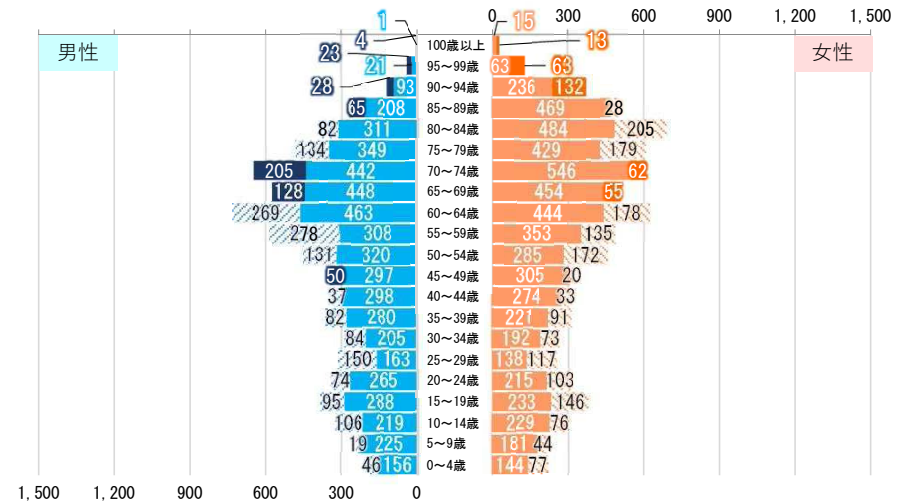
# 奥出雲町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）

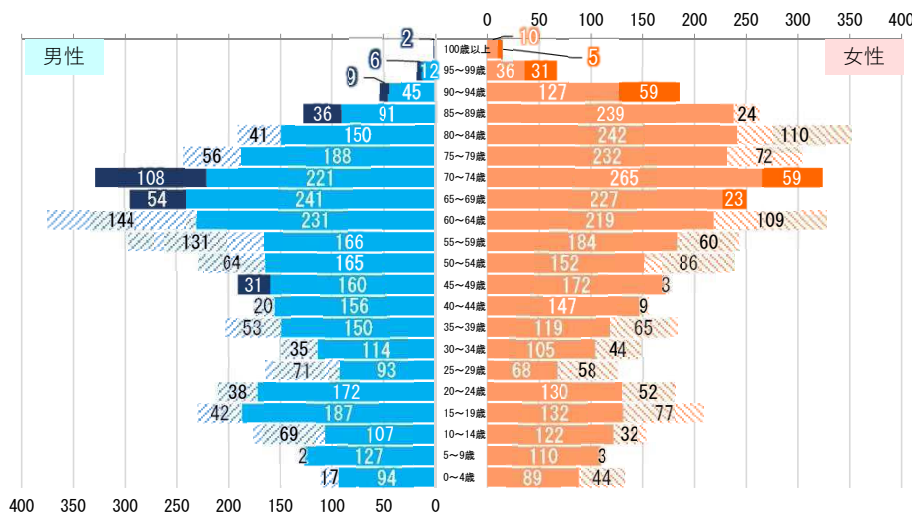


【奥出雲町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

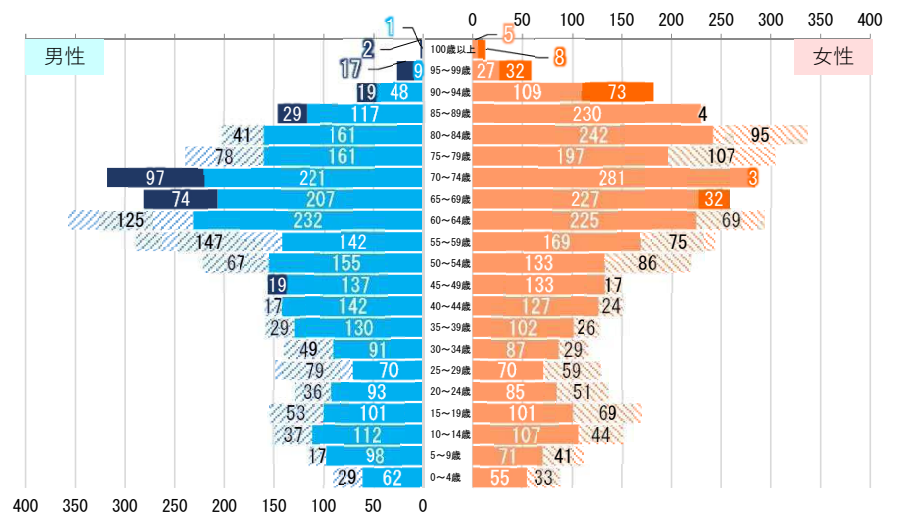


23

【仁多町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



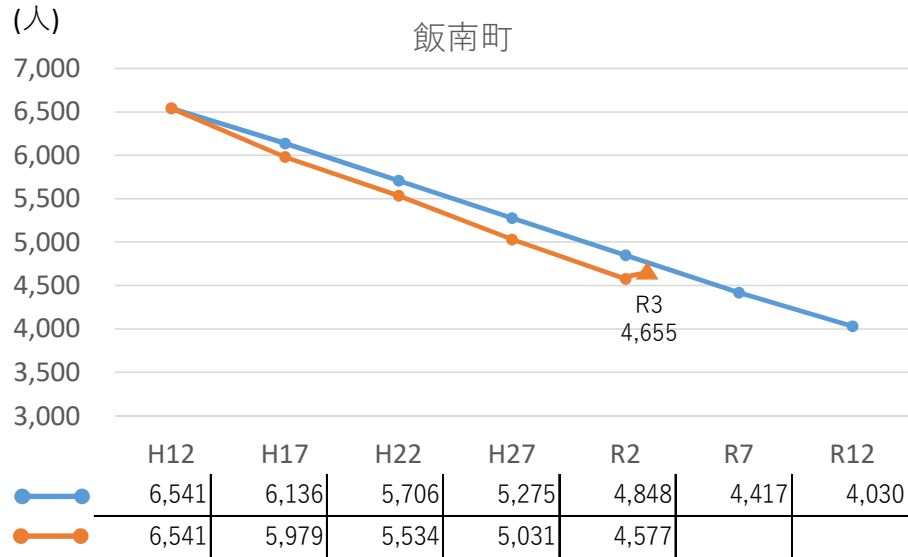
【横田町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



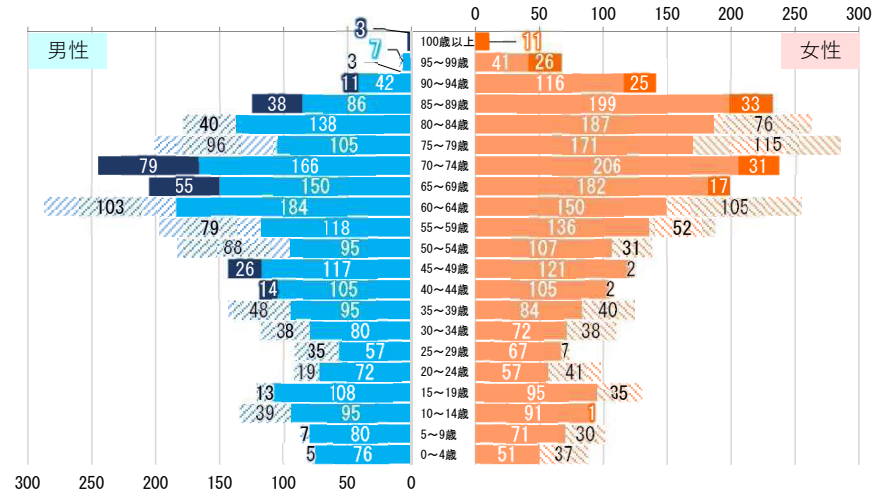
※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

# 飯南町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳
- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）

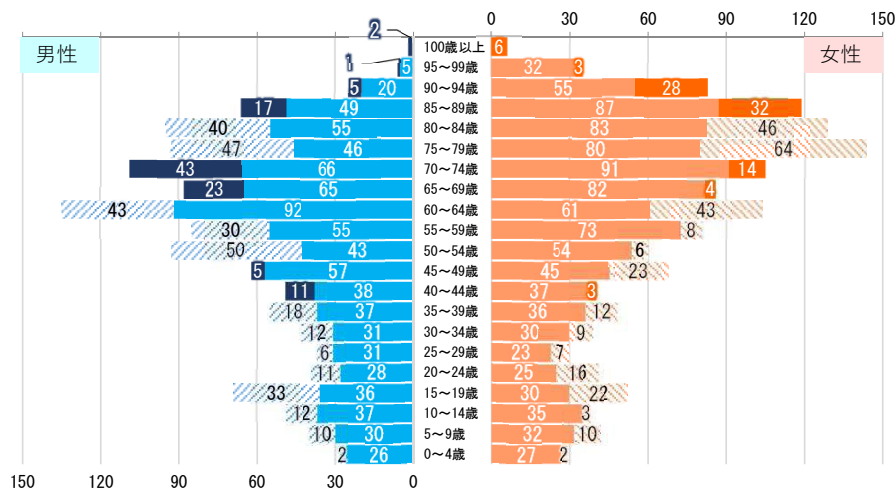


【飯南町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

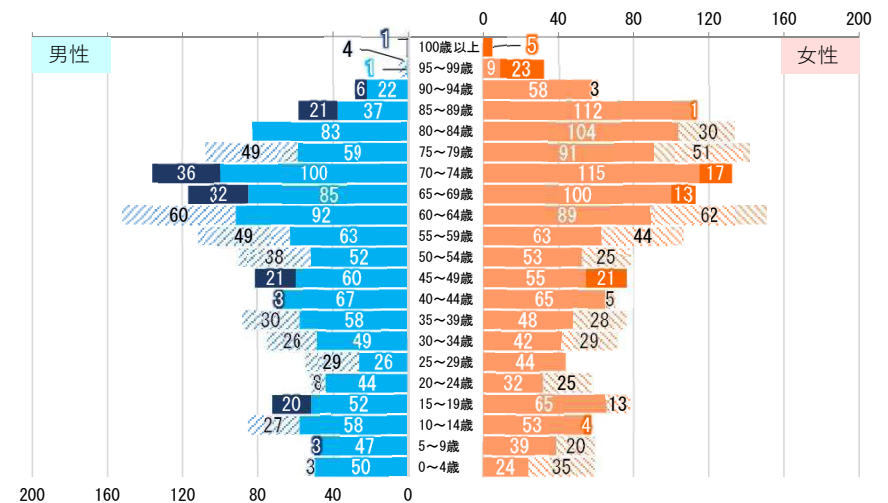


24

【頓原町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【赤来町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

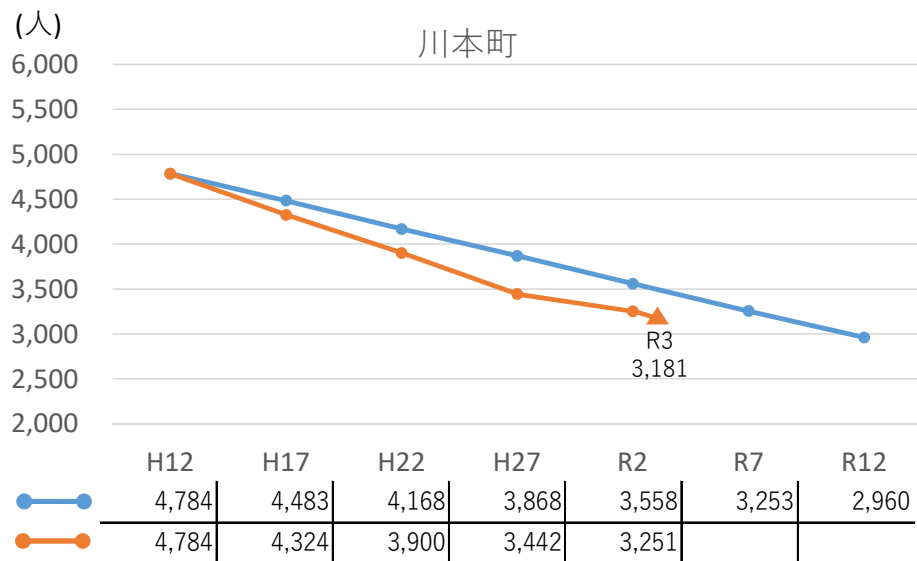


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

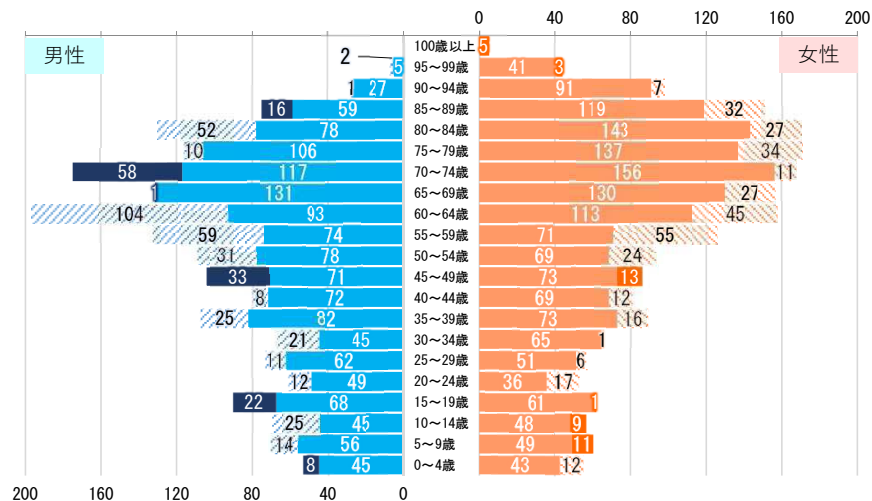
# 川本町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施(H15)した将来推計
- 国勢調査実績値
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- × H24年からの増加数 (男性)
- × H24年からの増加数 (女性)
- ▨× H24年からの減少数 (男性)
- ▨× H24年からの減少数 (女性)



【川本町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

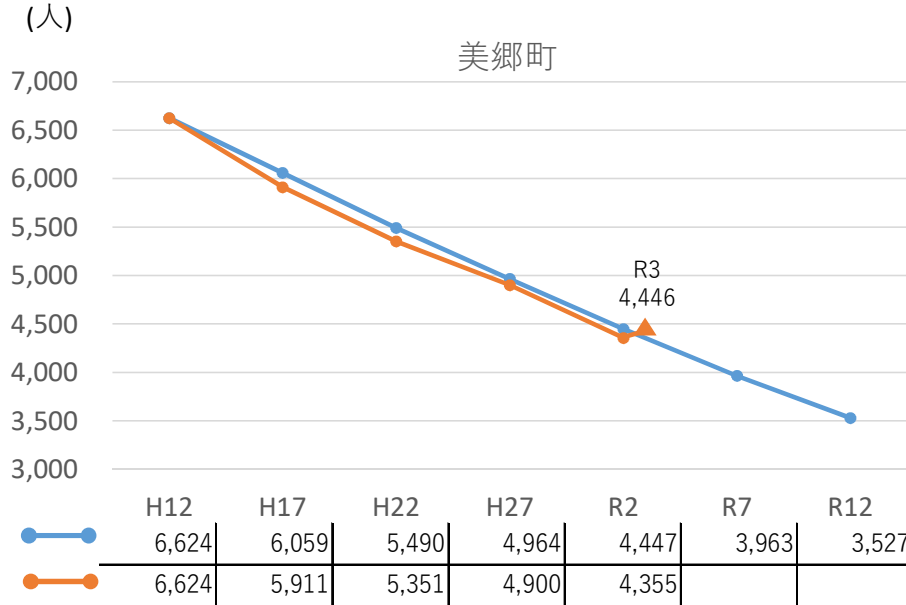


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

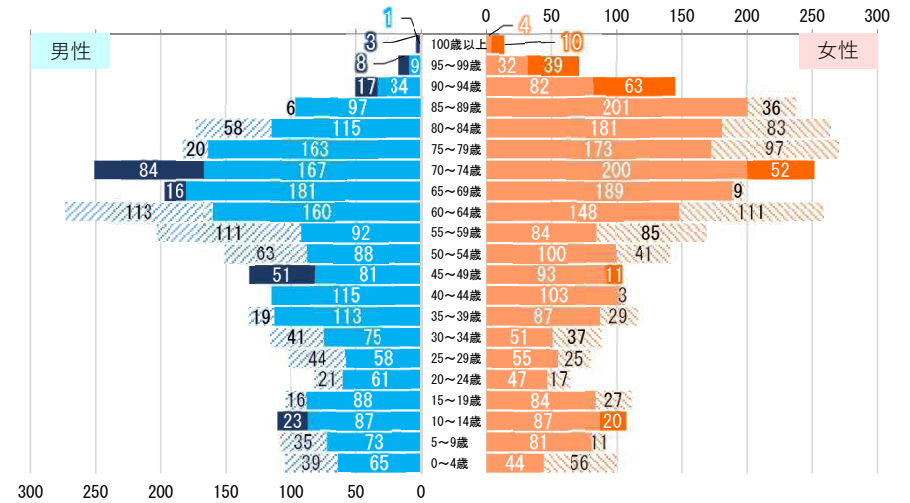
# 美郷町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

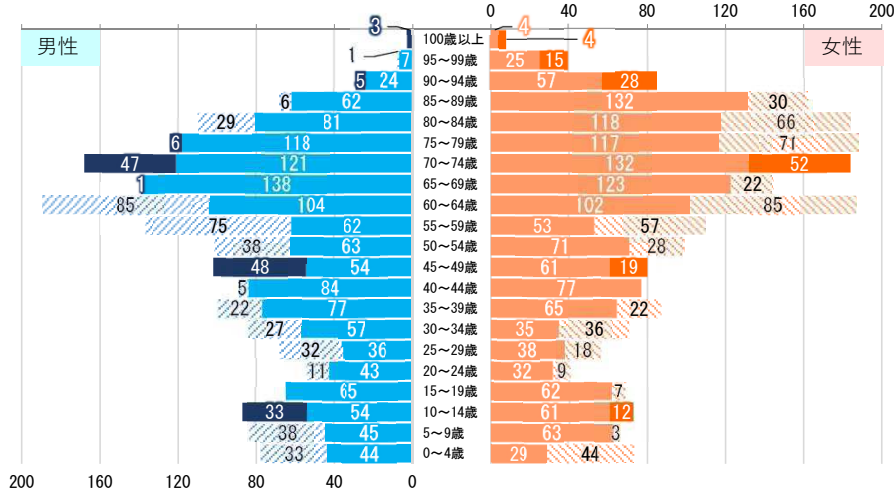
- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）



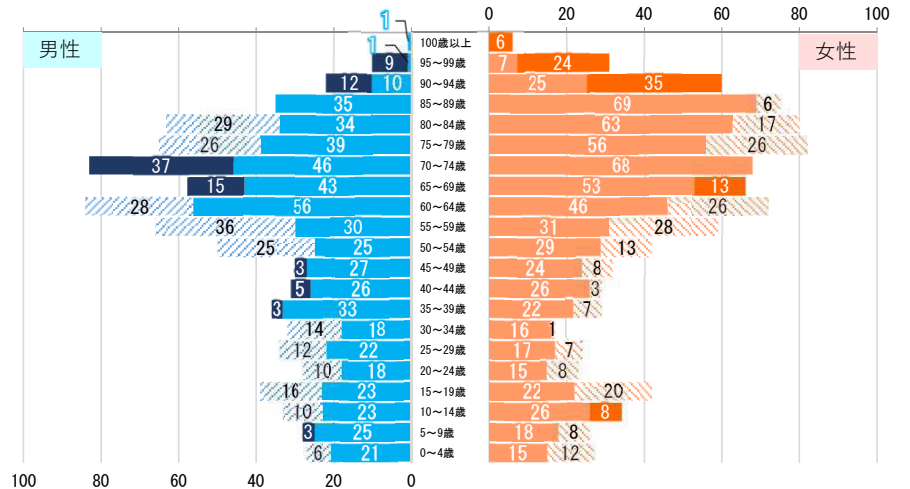
【美郷町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【邑智町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【大和村】R3年人口ピラミッド（対H24年）

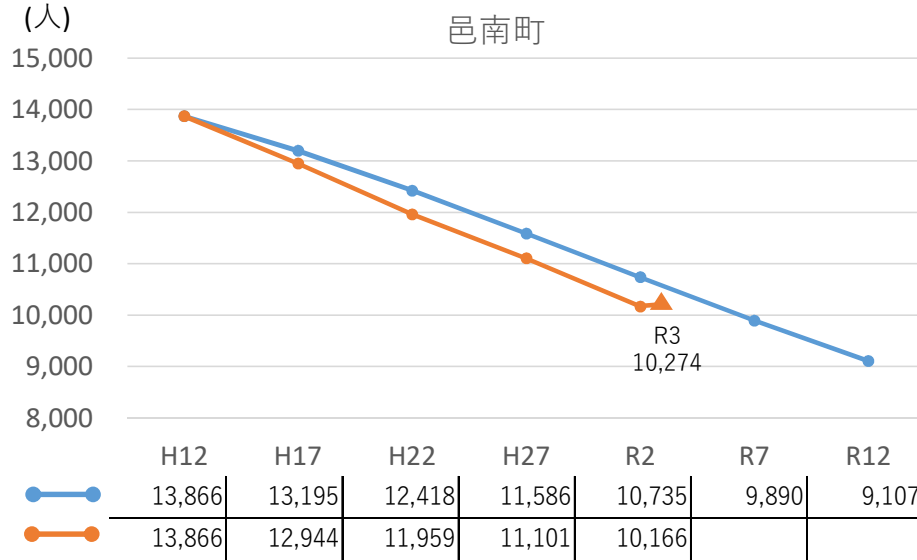


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

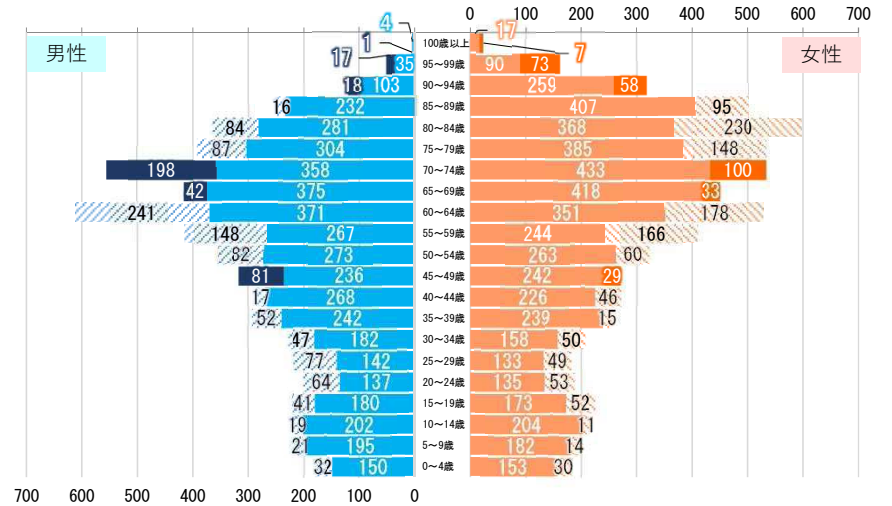
# 邑南町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）

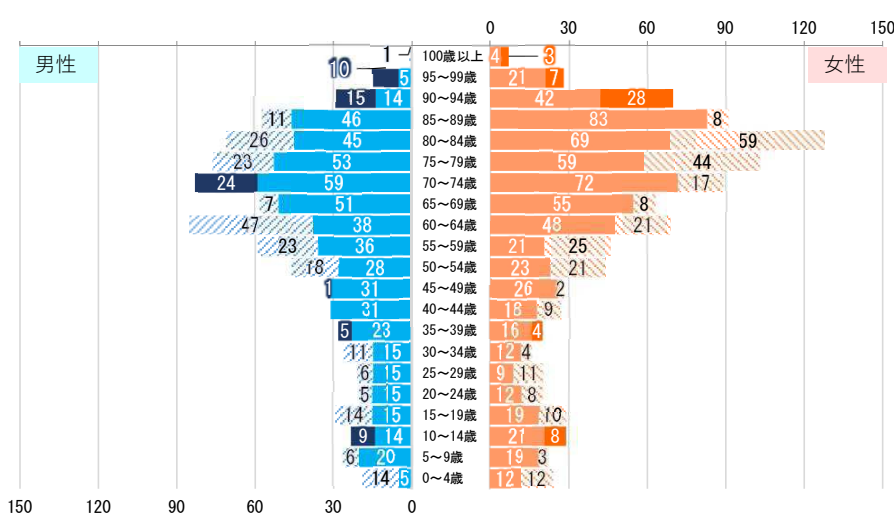


【邑南町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

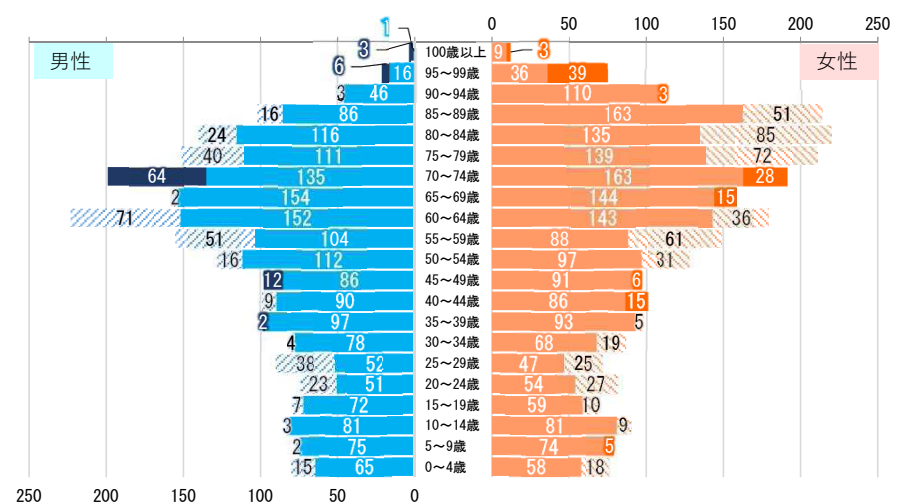


27

【羽須美村】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【瑞穂町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

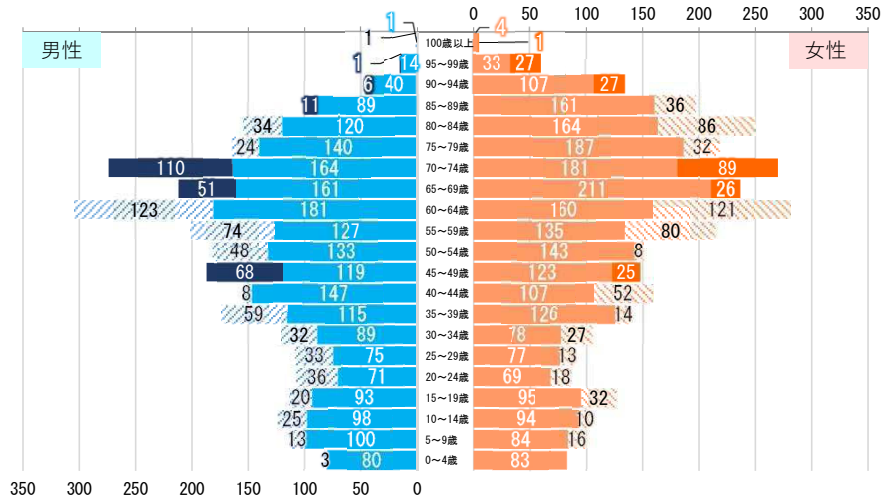
■× H24年からの増加数  
(男性)

▨× H24年からの減少数  
(男性)

■× H24年からの増加数  
(女性)

▨× H24年からの減少数  
(女性)

### 【石見町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

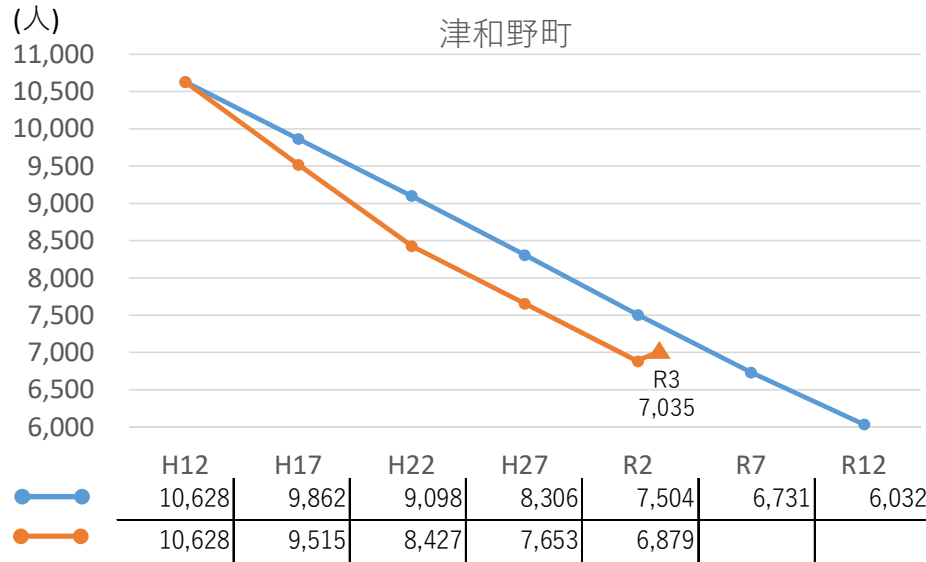


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

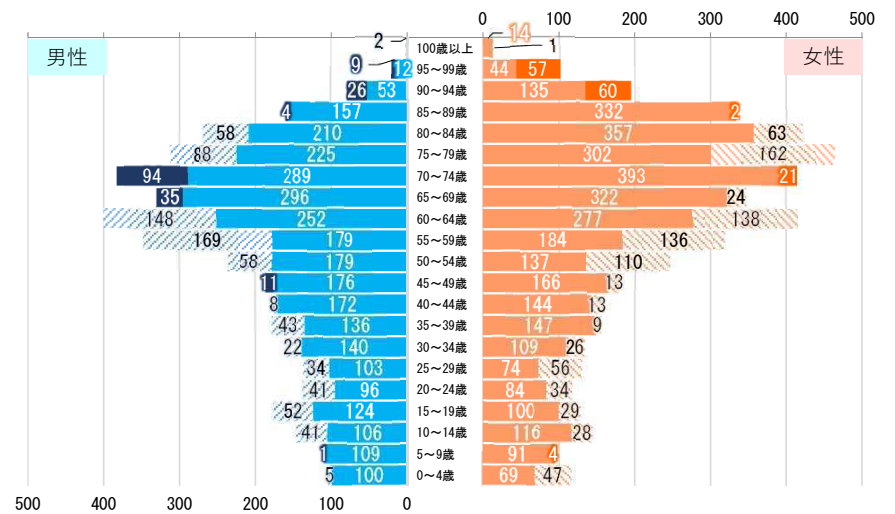
# 津和野町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

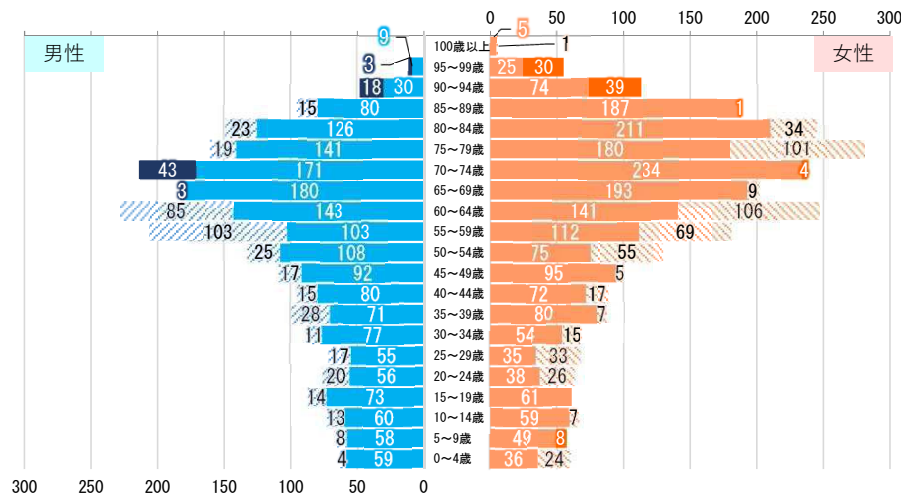
- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）



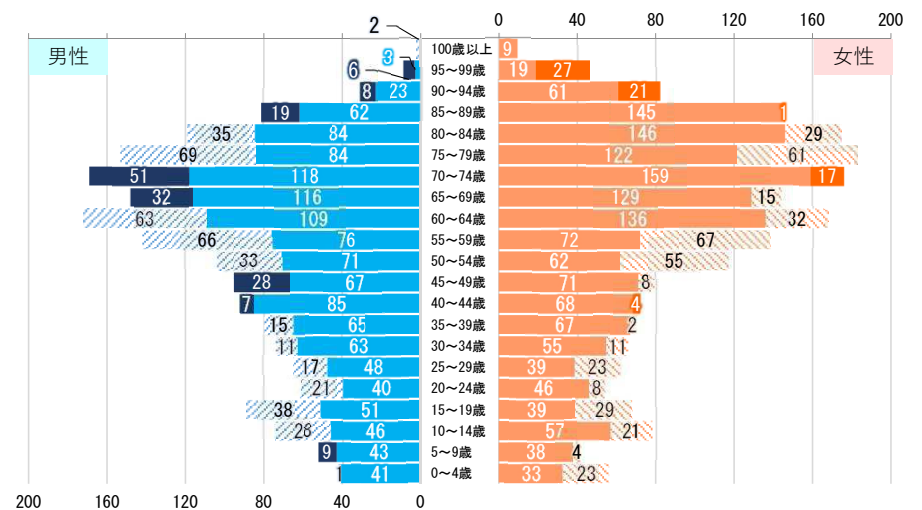
【津和野町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【旧津和野町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【日原町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

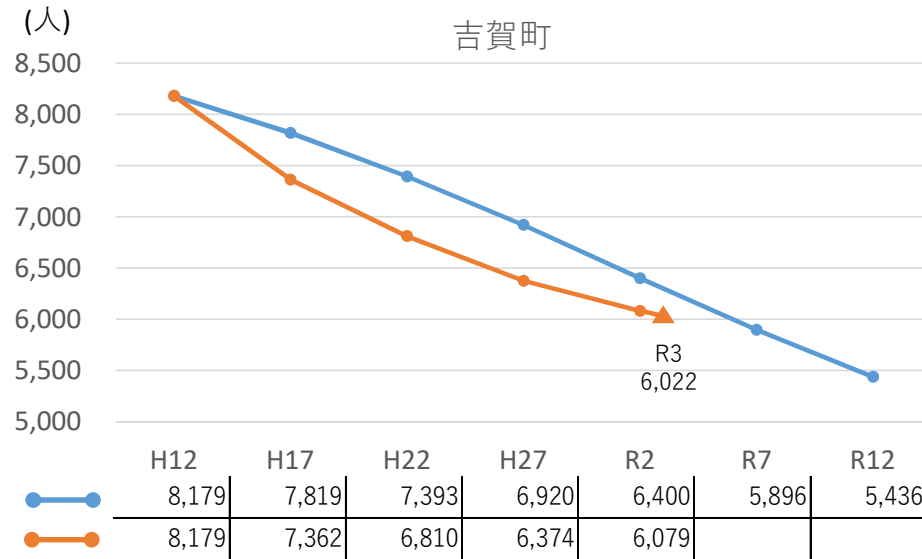


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

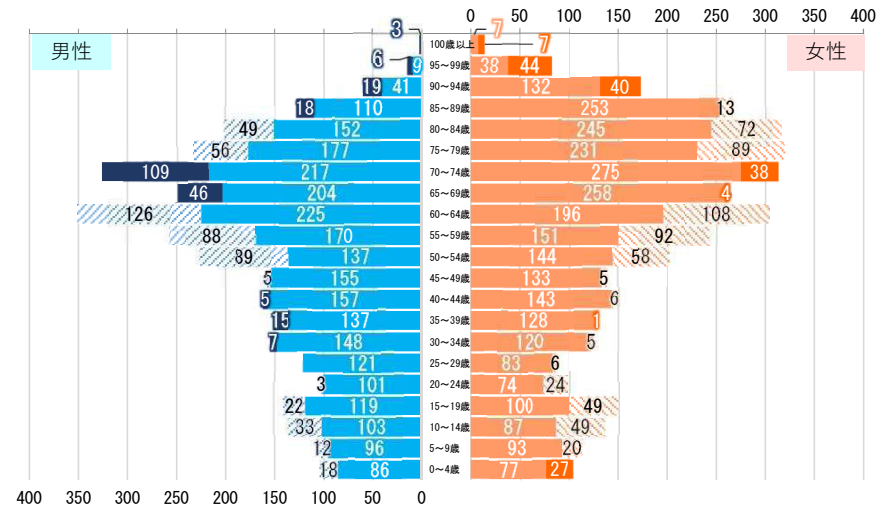
# 吉賀町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

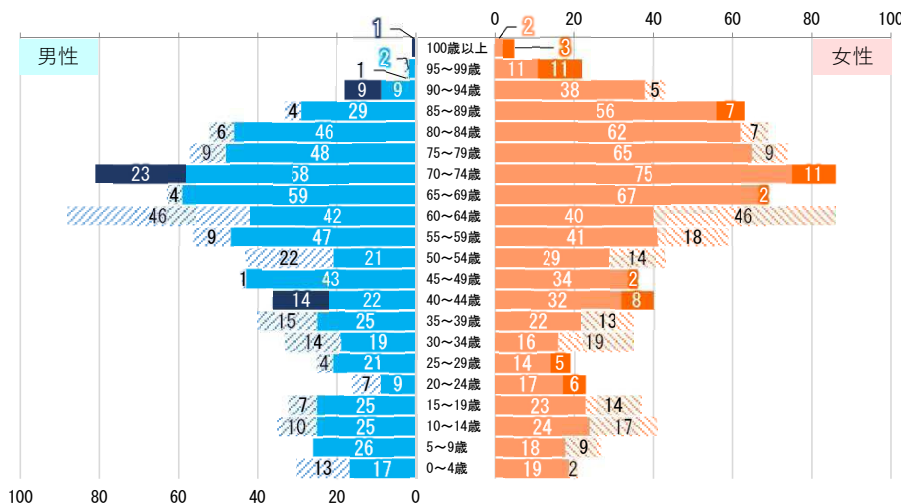
- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- × H24年からの減少数（男性）
- × H24年からの減少数（女性）



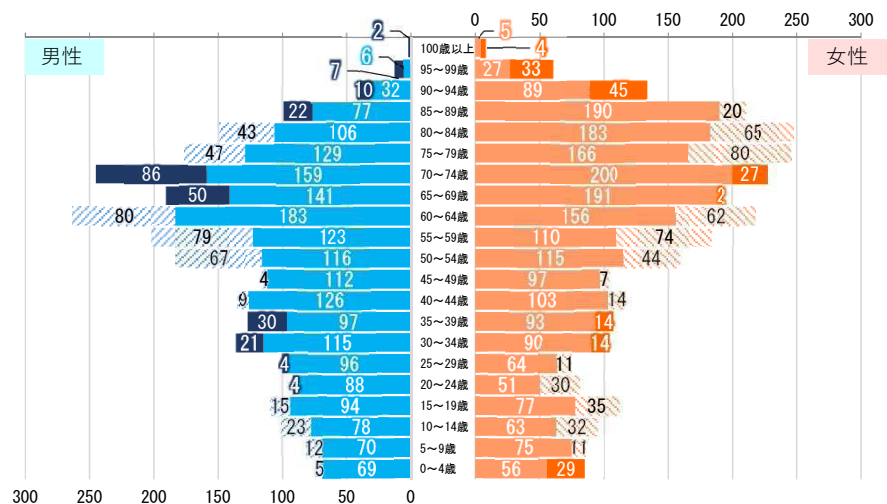
【吉賀町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【柿木村】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【六日市町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



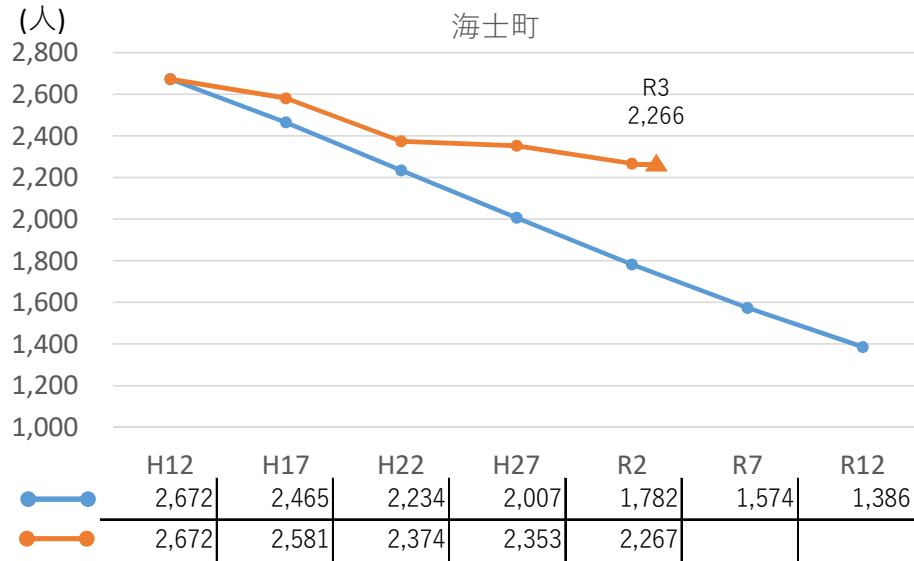
※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成



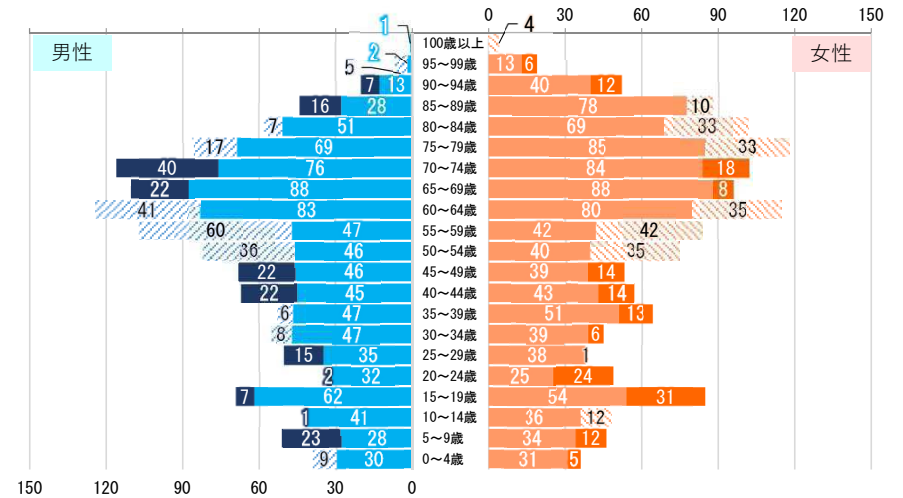
# 海士町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- ▨× H24年からの減少数（男性）
- ▨× H24年からの減少数（女性）



【海士町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

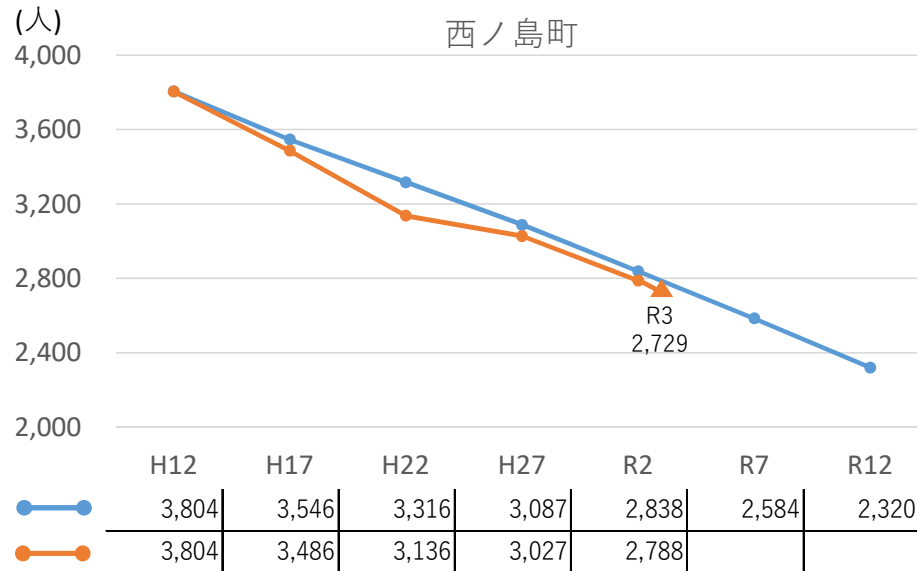


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

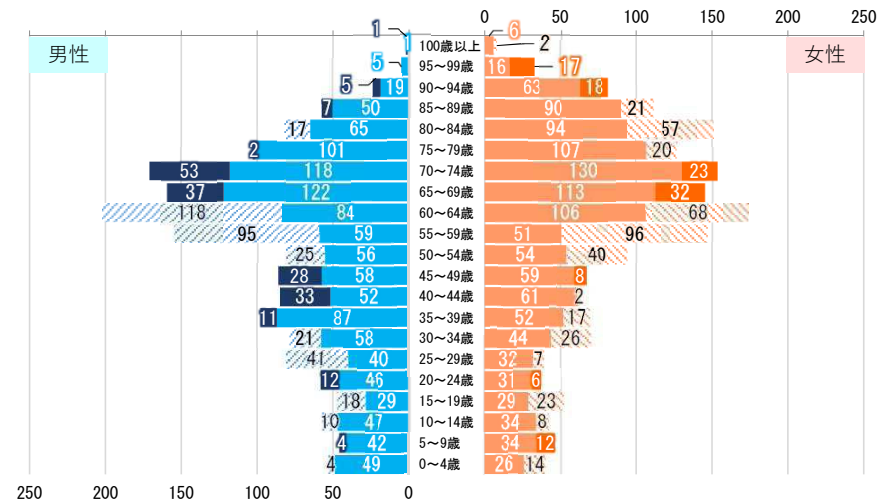
# 西ノ島町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- ⊗ H24年からの増加数（男性）
- ⊗ H24年からの増加数（女性）
- ⊗ H24年からの減少数（男性）
- ⊗ H24年からの減少数（女性）



【西ノ島町】R3年人口ピラミッド（対H24年）

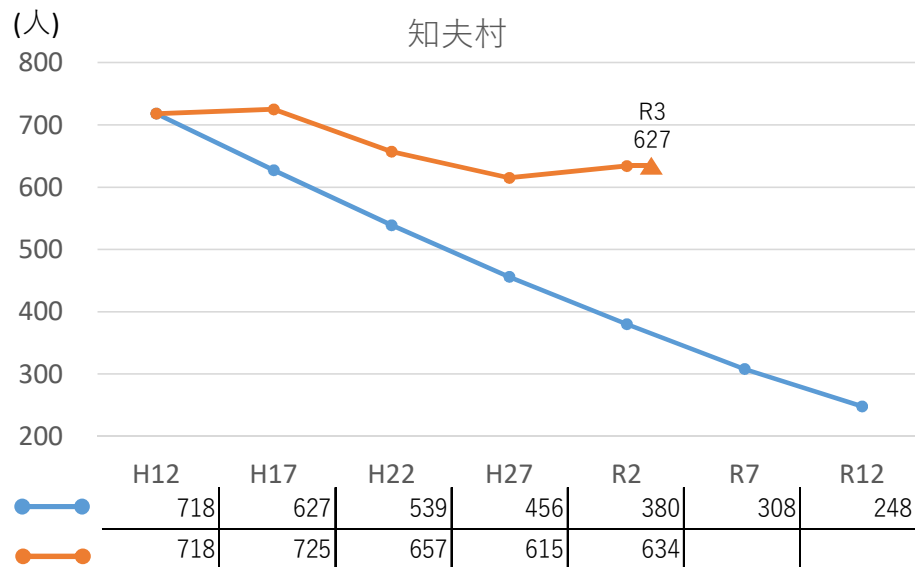


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

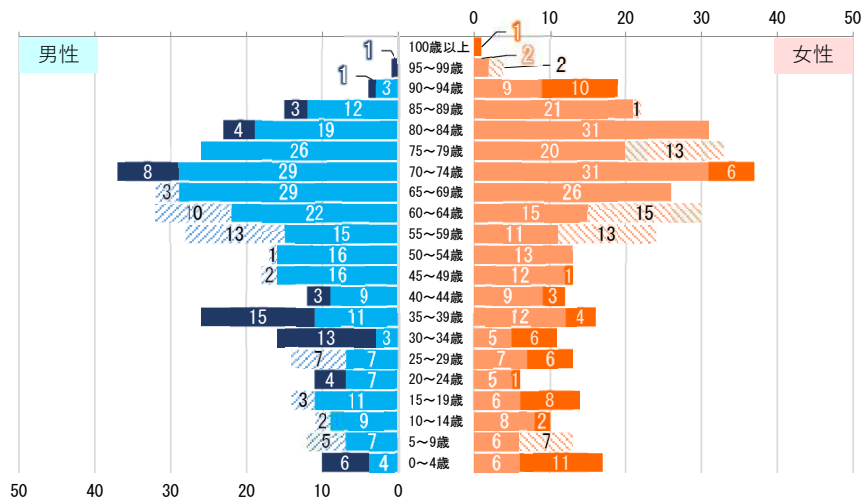
# 知夫村 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

- × H24年からの増加数（男性）
- × H24年からの増加数（女性）
- × H24年からの減少数（男性）
- × H24年からの減少数（女性）



【知夫村】R3年人口ピラミッド（対H24年）

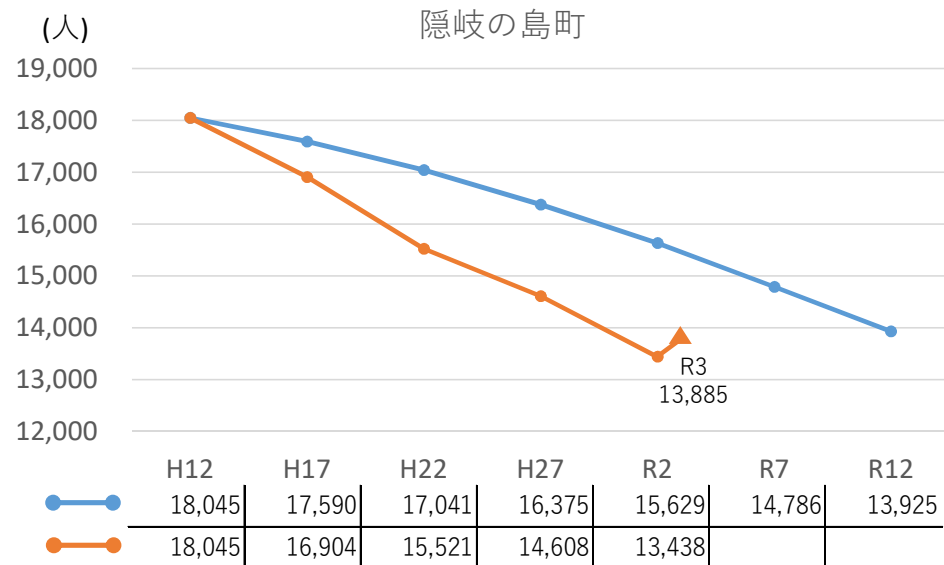


※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

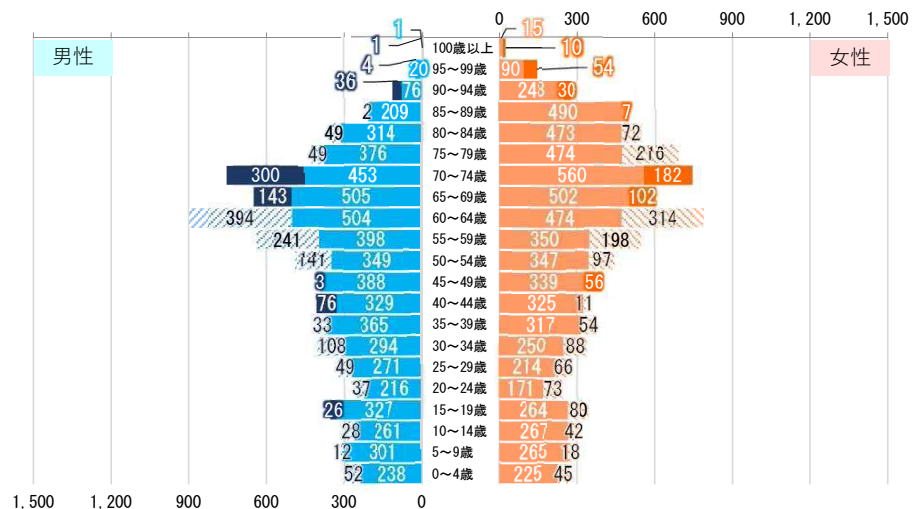
# 隠岐の島町 人口の将来推計値と実績値の比較・R3年人口ピラミッド（対H24年）

- H12国調実績値を起点に国立社会保障・人口問題研究所が実施（H15）した将来推計
- 国勢調査実績値（R2は県速報値）
- ▲ R3.4月末時点住民基本台帳

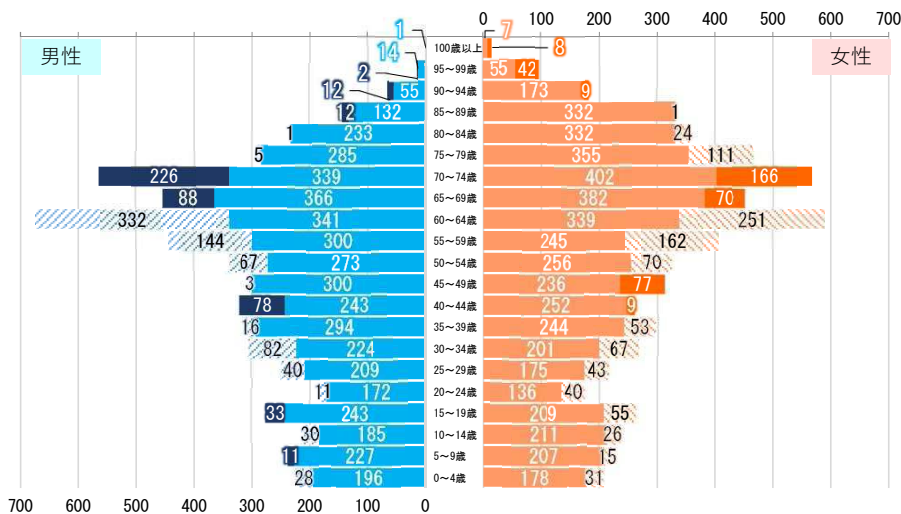
- ✕ H24年からの増加数（男性）
- ✕ H24年からの増加数（女性）
- ✕ H24年からの減少数（男性）
- ✕ H24年からの減少数（女性）



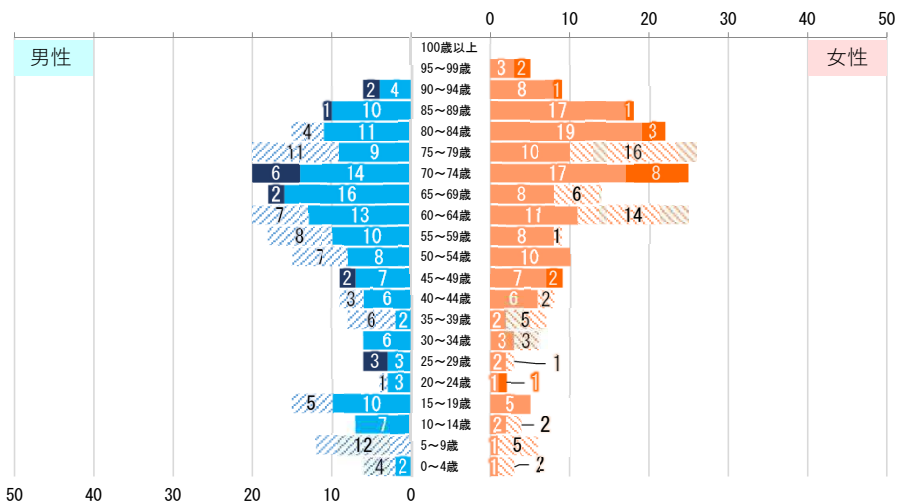
【隠岐の島町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【西郷町】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【布施村】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

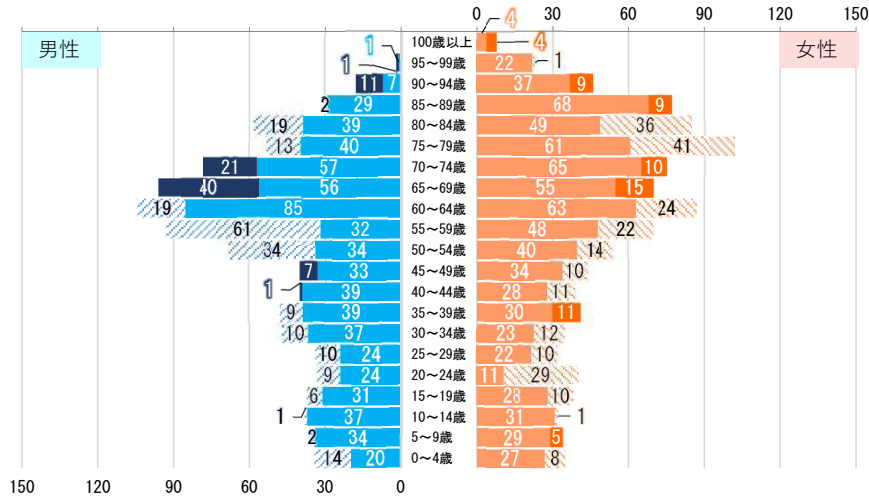
× H24年からの増加数  
(男性)

× H24年からの減少数  
(男性)

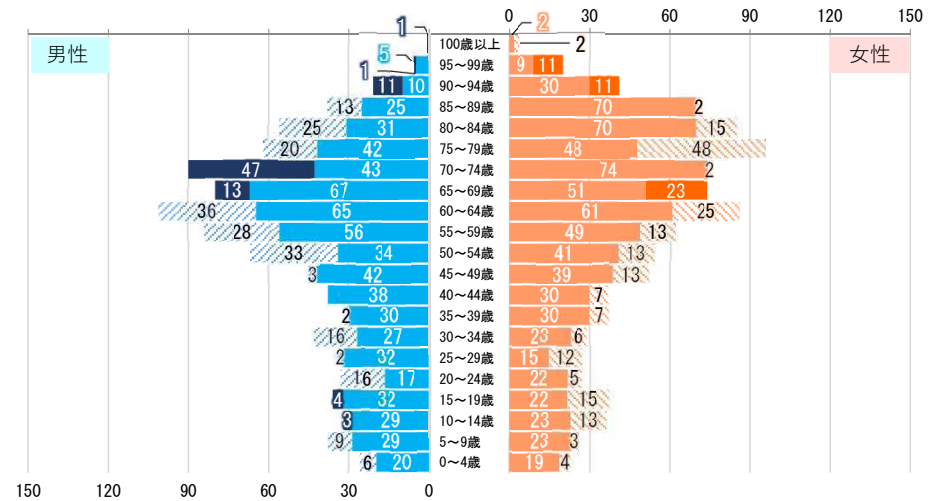
× H24年からの増加数  
(女性)

× H24年からの減少数  
(女性)

【五箇村】R3年人口ピラミッド（対H24年）



【都万村】R3年人口ピラミッド（対H24年）



※人口ピラミッドはR3.4月末及びH24.4月末時点の住民基本台帳から作成

## 島根県過疎地域持続的発展方針（素案）について

### 1. 過疎地域持続的発展方針（以下、「過疎方針」）について

#### （1）策定の根拠等

- ・ 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法 第7条
- ・ 県内市町村は過疎方針に基づき、過疎地域持続的発展市町村計画を策定
- ・ 「島根創生計画」との整合に留意し、以下により策定中

### 2. 過疎方針の内容

#### （1）方針の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

#### （2）方針の項目 ※下線部は過疎法等による新設事項

##### ① 基本的事項（P.1）

過疎地域の現状と問題点、過疎地域持続的発展の基本的な方向

##### ② 移住・定住、地域間交流の促進、人材の育成（P.10）

##### ③ 産業の振興（P.14）

##### ④ 地域における情報化（P.21）

##### ⑤ 交通施設の整備、交通手段の確保（P.23）

##### ⑥ 生活環境の整備（P.26）

##### ⑦ 結婚・子育て環境の確保、高齢者等の保健、福祉の向上及び増進（P.29）

##### ⑧ 医療の確保（P.34）

##### ⑨ 教育の振興（P.36）

##### ⑩ 集落の維持、活性化（P.38）

##### ⑪ 地域文化・スポーツの振興等（P.40）

##### ⑫ 再生可能エネルギーの導入促進（P.42）

### 3. 策定スケジュール

7月 パブリックコメント、市町村長から意見聴取、国事前協議、市町村計画の事前協議

8月 国協議（8/10～）

9月 策定、議会に報告

### 4. 過疎地域持続的発展計画について（参考）

#### （1）根拠等

- ・ 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法 第9条
- ・ 都道府県が実施する過疎対策事業（都道府県代行、過疎地域持続的発展支援事業（過疎対策室交付金事業）等）を実施するため、策定予定

#### （2）スケジュール・内容等

- ・ 過疎方針策定後より策定を開始し、令和4年2月議会において報告予定
- ・ 新たに目標（KPI等）や評価について記載

## 特定有人国境離島地域関係都道県協議会による要望について

### 1 協議会の概要

#### (1) 会員

- ・ 8 都道県（特定有人国境離島地域を有するすべての都道県が加入）  
（北海道、東京都、新潟県、石川県、山口県、長崎県、鹿児島県、島根県）

#### (2) 会長

- ・ 島根県知事

#### (3) 協議会の目的

- ・ 特定有人国境離島地域を有する都道県相互の連絡連携により、特定有人国境離島地域の維持等のための施策の推進を図るため、共同要望及び情報収集、意見交換等を行う

#### (4) 設立年月日

令和 3 年 1 月 12 日

### 2 協議会要望について

#### (1) 実施時期

令和 3 年 7 月

#### (2) 要望者

島根県知事及び各都道県関係者  
（新型コロナウイルス感染症の影響等も考慮し調整）

#### (3) 要望先

有人国境離島地域の保全・振興を推進する議員連盟役員  
関係都道県選出国會議員  
内閣府  
国土交通省

#### (4) 要望書

別添のとおり

# 特定有人国境離島地域に関する要望書

令和3年7月



特定有人国境離島地域の振興につきましては、日頃から格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年4月に施行された「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」（以下「法」）は、特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別の措置を講じ、もって、我が国の領海、排他的経済水域等の保全等に寄与することを目的とされています。

国におかれては、法に基づき創設された特定有人国境離島地域社会維持推進交付金（以下「交付金」）等により、地域社会の維持等のための支援措置を講じていただいているところですが、特定有人国境離島地域は、一部では改善の兆しがあるものの、人口減少が続いており、また、新型コロナウイルス感染症の影響による観光業への打撃等により、大変厳しい状況にあります。

つきましては、特定有人国境離島地域が果たす国益を守るという国家的意義を踏まえ、次の事項について特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

## I 交付金等の財政支援措置の充実・強化

交付金について、特定有人国境離島地域の維持等を進めるために必要な予算の確保と、対象事業の拡充等、更なる制度の充実・強化を図ること。

### 1 既存事業の対象の拡大

#### (1) 航路・航空路運賃の低廉化

特定有人国境離島地域に人が住み続けていくためには、交流人口の増大や地域での生活維持を図ることが不可欠であり、航路・航空路運賃の低廉化の対象となる路線や準住民の対象範囲について、拡大すること。

- 観光等を目的に来島する者
- 特定有人国境離島地域と、生活上の関連性が高い都市圏域を繋ぐ路線
- ワーケーション等を目的に来島する者
- 住民の介護等により反復継続的に来島する者

#### (2) 滞在型観光促進事業の制度の拡充

滞在型観光促進事業における割引制度について、観光体験に加え、飲食やレンタカーの利用について、対象に追加すること。また、来訪者の満足度向上を図ることができるよう、観光案内板等の受入環境整備、老朽化した宿泊施設の改修、移動車両購入等の経費に対する支援措置を追加すること。

### (3) 新型コロナウイルス感染症対策のための緊急支援措置

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う農林水産物の急激な需要の減少による価格下落等に対応するため、交付金における輸送コスト支援事業の交付率の嵩上げなど、価格安定対策等の更なる充実を図るとともに、農林漁業者が安心して経営を続けることができるよう万全の対策を講じること。

## 2 対象事業の追加

### (1) 生活物資等に係る輸送コストの低廉化

特定有人国境離島地域は、ほぼすべての品目について本土と比べて割高になっていることから、生活物資等について物価を下げるため輸送コストの低廉化がはかれるよう、交付金事業に追加すること。また、移出品目1つに対し、移入品目は、現在1つしか認められていないが、移入品目数を拡充すること。

### (2) 人材確保対策の強化

特定有人国境離島地域の地域社会の維持を図るため、島外から積極的に人材誘致を進めることが必要であり、島外から新規で島内企業に雇用された者の移住費用や、住宅確保等に関する支援を、交付金事業に追加すること。

## II 特定有人国境離島地域の追加指定

我が国の領海、排他的経済水域等の保全など国境離島の持つ国家的役割を鑑み、人口減少や本土からの所要時間等が、特定有人国境離島地域と同程度に厳しい条件に置かれている有人国境離島地域について、その維持や振興を図るため、課題に直面する地方の意見をよく聴き、法に定める特定有人国境離島地域に追加指定すること。

- 天売・焼尻（北海道）
- 伊豆諸島北部地域（東京都）
- 粟島（新潟県）

## III 特定有人国境離島地域の維持・振興を図るための新たな支援措置の創設

- 1 企業等の進出や島内での創業、地域産業のIoT導入及び住民生活の質の向上のため、光ファイバ網整備への支援措置の拡充及び5Gの早期導入に向けた支援を行うこと。

- 2 車両を島外に輸送しなければ車検を受けることができない離島においては、住民にとって車検に係る島外への車両航送費が大きな負担となっており、その負担軽減が図られるよう補助制度の創設等を行うこと。
- 3 地理的条件等により、総体的に物価が高い離島地域においては、本土との地域格差を是正する観点から、消費税負担の軽減を検討すること。
- 4 住民の生活の安定と福祉の向上を図るための医療・介護施設の整備等に係る経費について支援制度を拡充すること。
- 5 重要な活動拠点の基盤となる漁港、道路等の整備に係る経費について支援措置を拡充すること。

令和3年 7月

特定有人国境離島地域関係都道県協議会

会長	島根県知事	丸山	達也
	北海道知事	鈴木	直道
	東京都知事	小池	百合子
	新潟県知事	花角	英世
	石川県知事	谷本	正憲
	山口県知事	村岡	嗣政
	長崎県知事	中村	法道
	鹿児島県知事	塩田	康一

## 隠岐地域の物価・物流に関する調査について

### 【概要】

平成30年度に島根県が実施した隠岐地域における物価・物流に関する実態調査の結果、隠岐地域の物価は、本土（松江市）と比較すると、2割程度割高であることが判明した。

このため、隠岐地域の物価高が住民の生活にどのような影響を与えているか、物価高は隠岐地域独自の課題であるのかを明らかにすることを目的に、隠岐地域の住民を対象としたアンケートと、隠岐地域及び本土の中山間地域の小売事業者を対象にした聞き取り調査を行った。

調査範囲	隠岐地域 [海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町] 本土の中山間地域 [出雲市、益田市、奥出雲町、邑南町、津和野町、吉賀町]	
調査項目	物価・物流調査に関する調査	
	隠岐地域における物価に関するアンケート調査	物価調査・小売店ヒアリング調査
調査方法	郵送による調査票配布・回収	店頭表示価格の確認、小売事業者へのヒアリング
調査対象	隠岐地域に居住する18歳以上の住民(3,250人) ※アンケート回収数:1,535部(回収率47.2%)	隠岐地域の小売店 7店舗(中型店3店舗・小型店4店舗) 本土の中山間地域の小売店8店舗(中型店4店舗・小型店4店舗)
日程	令和3年2月8日～22日	令和3年2月16日～19日
調査内容	<p>主なアンケート内容は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 隠岐地域の物価について、どのように感じているか。</li> <li>2 隠岐地域の物価が高いと感じている理由</li> <li>3 隠岐地域の物価が高いことが生活に及ぼす影響</li> <li>4 隠岐地域の物価を引き下げるために必要な公的支援</li> <li>5 今後の居住地決定に与える物価高の影響</li> <li>6 品目ごとの購入手段</li> <li>7 隠岐地域産品の購入意向</li> </ol>	<p>総務省「小売物価統計調査」の調査品目及び基本銘柄のうち、次のいずれかの条件を満たす73品目を抜粋</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 消費者が主として居住地区近辺で購入する品目で、地区間で価格差が見られる品目</li> <li>2 主として各市町村の代表的な商業集積地、大型店舗等で購入する品目で、店舗間で価格差が見られる品目</li> <li>3 地区間または店舗間での価格差が比較的小さい品目</li> </ol> <p>※雑貨については消費者庁「雑貨工業品一覧表」を参考に品目抜粋          ※季節もの、店舗での取扱がないものは除く</p>

	<b>隠岐地域における物価に関するアンケート調査</b> <b>(資料1：青色部分対応)</b>	<b>物価調査・小売店ヒアリング調査</b> <b>(資料1：桃色部分対応)</b>																							
<b>調査結果</b>	<p>1 商品やサービスによってバラツキはあるものの、隠岐地域の物価が高いと感じている方が多い。特に、燃料費(87.0%)、肉類(85.8%)、野菜・果物(81.5%)の3品目は、8割を超える方が高いと感じている。</p> <p>2 隠岐地域の物価が高い要因は、海上輸送費が高いことに起因すると感じている方が37.0%と最も多くなっている。</p> <p>3 58.0%の方が、物価高が今後の居住地決定に影響があると回答。</p> <p>4 食品類については、島内の店舗で購入する方の割合が高い一方、食品類以外の品目では、本土の店舗での購入や通販を利用する方の割合が多くなっている。</p> <p>5 隠岐地域の物価が高いことが生活に及ぼす影響として、通販の利用回数が増える(32.7%)、購入や受けたサービスをあきらめることがある(20.8%)と回答する方が多く、物価が高いことで、島内で品物等を購入する頻度が減少し、販売機会の損失につながっている。</p> <p>6 54.5%の方が、隠岐地域産のものを意識して購入すると回答。</p>	<p>1 本土の中山間地域の中型店4店舗における各品目の物価平均値を1とした場合、隠岐地域の中型店3店舗と比較すると0.89～1.31となっており、中型店同士では、平均して6分程度隠岐地域の方が物価が高い水準となっている。</p> <p>2 本土の中山間地域の小型店4店舗における各品目の物価平均値を1とした場合、隠岐地域の小型店4店舗と比較すると0.85～1.53となっており、小型店同士では、平均して2割程度高い水準となっている。</p> <p>3 地場産品の取扱状況について、調査対象店舗へ聞き取りした結果、隠岐地域の店舗は、本土の中山間地域の店舗と比較して、地元産の商品を取り扱う店舗が少なく、また取り扱う場合でも、全体構成に占める割合は、低い傾向にある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>○アンケート調査の結果、隠岐地域の物価が高いと回答した方の割合が多かった3品目の実際の価格差</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">全国</th> <th style="text-align: center;">島根県</th> <th style="text-align: center;">隠岐地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レギュラーガソリン現金価格 (1リットル当たり)</td> <td style="text-align: center;">150.3円</td> <td style="text-align: center;">153.3円</td> <td style="text-align: center;">156.1円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※資源エネルギー庁調査による ※全国平均、島根県はR3年3月29日調査、隠岐地域は、R3年3月の平均価格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">中型店</th> <th style="text-align: center;">小型店</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肉類</td> <td style="text-align: center;">0.89</td> <td style="text-align: center;">0.85</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td style="text-align: center;">1.01</td> <td style="text-align: center;">1.39</td> </tr> <tr> <td>果物</td> <td style="text-align: center;">1.11</td> <td style="text-align: center;">1.53</td> </tr> <tr> <td>全商品平均</td> <td style="text-align: center;">1.06</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本土の中山間地域の各中型店、小型店の平均値を1とした場合の隠岐地域の店舗における平均値</p> </div>		全国	島根県	隠岐地域	レギュラーガソリン現金価格 (1リットル当たり)	150.3円	153.3円	156.1円		中型店	小型店	肉類	0.89	0.85	野菜	1.01	1.39	果物	1.11	1.53	全商品平均	1.06	1.20
	全国	島根県	隠岐地域																						
レギュラーガソリン現金価格 (1リットル当たり)	150.3円	153.3円	156.1円																						
	中型店	小型店																							
肉類	0.89	0.85																							
野菜	1.01	1.39																							
果物	1.11	1.53																							
全商品平均	1.06	1.20																							

調査概要

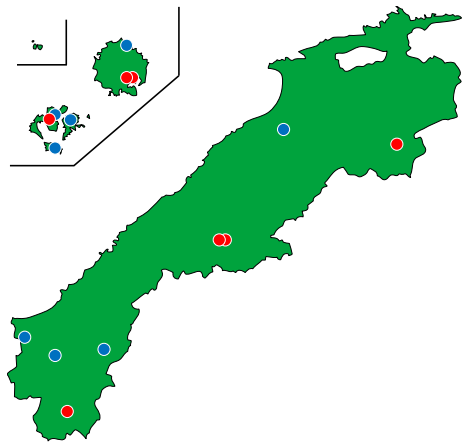
隠岐地域の物価高が住民の生活にどのような影響を与えているか、物価高は隠岐地域独自の課題であるのかを明らかにすることを目的に、以下の2つの調査を行った。

隠岐地域の物価に関するアンケート調査

対象：隠岐地域に居住する18歳以上の3,250人に郵送により配布（回収数1,535・回収率47.2%）  
調査期間：令和3年2月8日～令和3年2月22日

物価調査・小売店ヒアリング調査

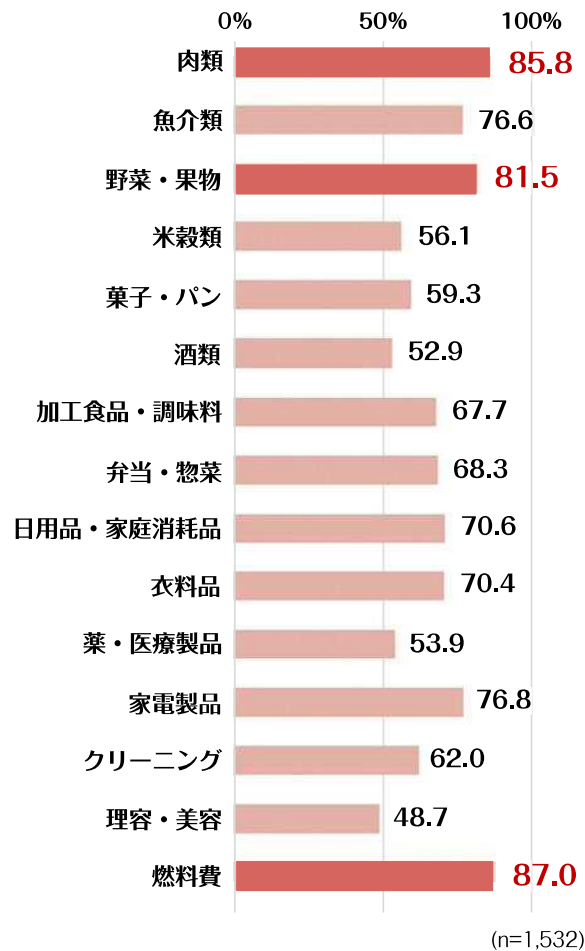
対象：本土の中山間地域8店舗・隠岐地域7店舗  
調査期間：令和3年2月16日～令和3年2月19日



- …中型店（売り場面積450平方メートル以上）
- …小型店（売り場面積450平方メートル未満）

1 1 2 隠岐地域の物価について高いと感じている人が多い。特に肉類、野菜・果物、燃料費について8割以上の人が高いと感じている。本土の中山間地域と比較すると、隠岐地域は肉類は安い、野菜・果物は高い。

隠岐地域の物価が高いと思う人の割合

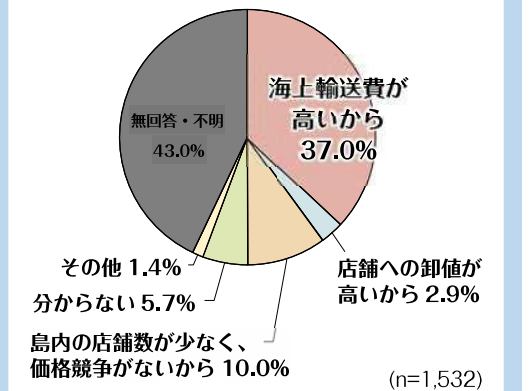


物価指数



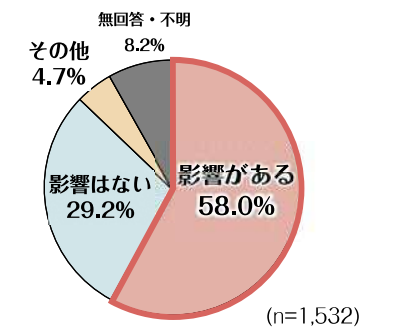
2 物価高の要因は海上輸送費だと感じている人が多い。

物価が高い理由



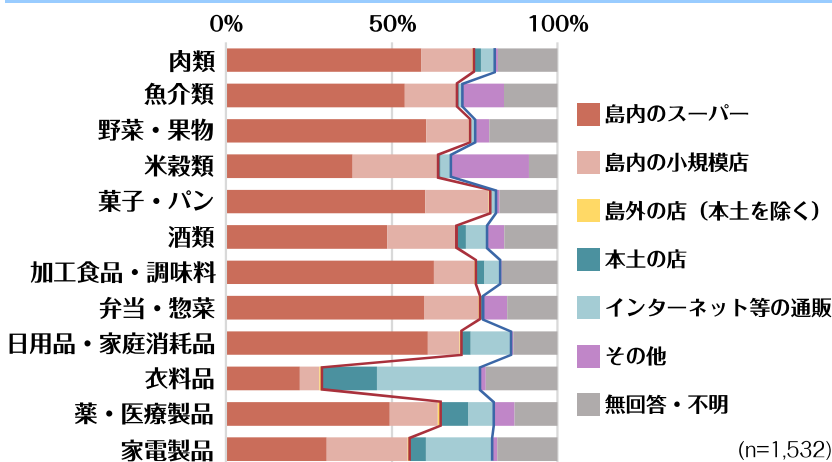
3 約6割の人が今後の居住地決定に地域の物価が影響すると考えている。

居住地決定に物価が影響するか

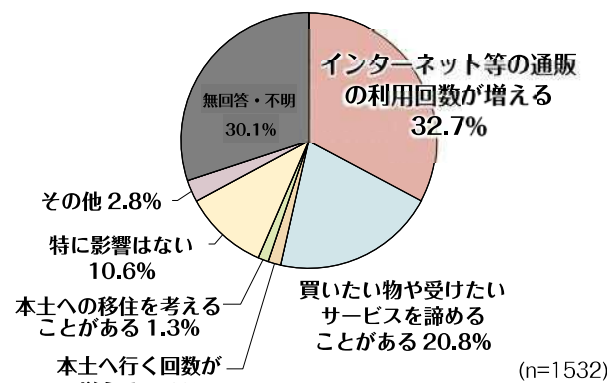


4 5 食品類は島内での購入が多い。食品類以外の品目では本土での購入や通販の利用の割合が増える。物価高が生活に及ぼす影響としては通販の利用が増えたり購入を諦める人が多い。物価高により、島内で物品を購入する頻度が減少することにより、販売機会の損失につながっている。

主な購入場所

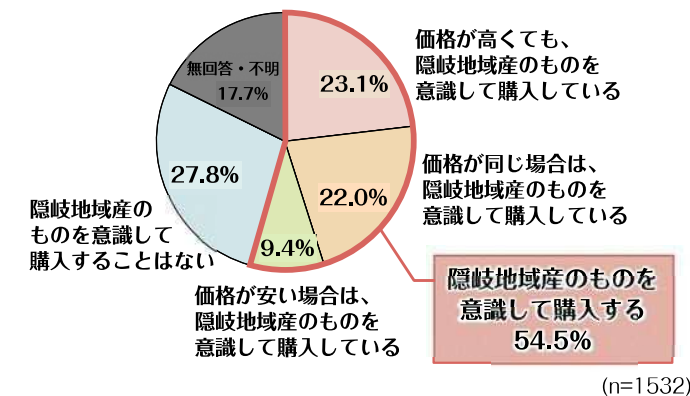


物価が生活に及ぼす影響

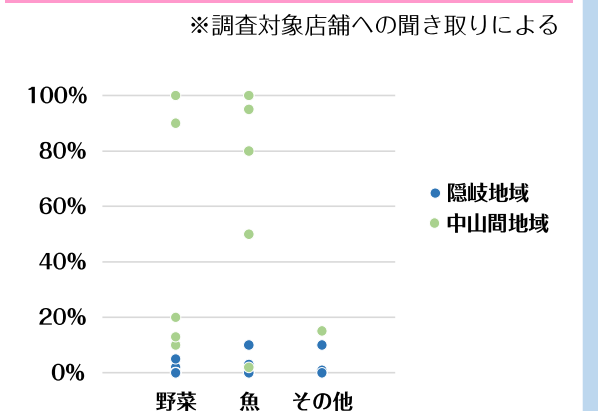


6 3 約半数の人が隠岐地域産品を優先的に購入しているが、物価調査実施店舗のヒアリングでは隠岐地域の店舗は地元産品の取扱率が低い傾向である。

隠岐地域産品の購入意識

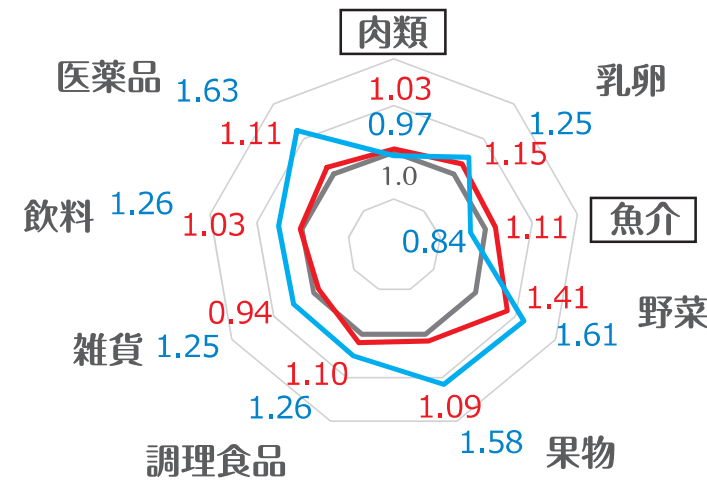
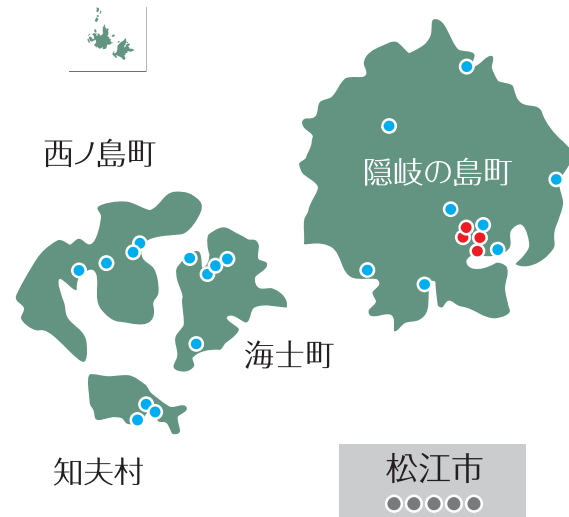


地元産品の取扱率



物価調査・店舗へのヒアリング調査結果

隠岐諸島の物価は、平均すると松江の店舗と比べ約2割ほど高い。(本土と同じ金額のところから約1.5倍のところまである)



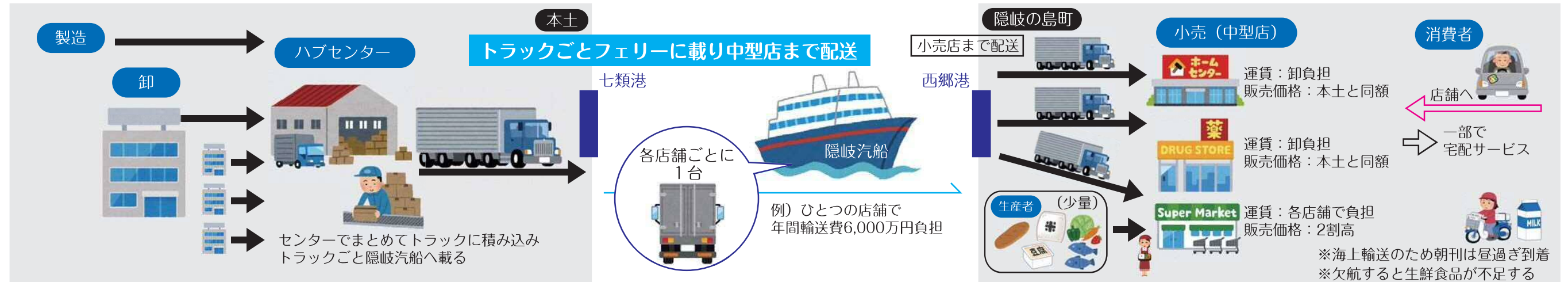
● 松江市 (5) ● 中型店 (4) ● 小型店 (20)

— 松江市1.0 — 中型店1.11 — 小型店1.29

【物価構造】

- 隠岐諸島の物価は平均すると松江の店舗に比べ約2割高い。ただし、全国組織のグループ傘下店は卸業者との契約で「離島まで配達しても本土と同額」のところもある。海上輸送費を各店舗で負担している店舗では海上輸送費が商品価格に反映し割高になっている。また、小型店は仕入れ量が少ないため、大量購入による割引が受けられず、さらに価格上昇につながっている。(海上輸送費は毎日のように搬入する中型店では年間6,000万円、トラックのサイズが小さい小型店では年間1,800万円、箱単位で時々注文する小型店でも年間数十万円から数百万円単位でかかっている)
- 生鮮食品のうち「肉、魚」は小型店が本土より安くなっているが、これはパックごと冷凍された状態で店頭で並んでいるためであり、単純に価格比較できない。(生の状態の肉が手に入りにくい状態)
- 「肉、魚」を除く生鮮食品は日持ちがしないため輸送頻度が高く、海上輸送費が価格に反映し、松江市1.0に対し、中型店1.09~1.41、小型店1.25~1.61。(海上輸送が止まると食品が棚から消える状態)
- 生鮮食品以外の「調理食品、雑貨、飲料、医薬品」も本土に比べ高値となっている。
- 中型店の一部では生産者へ呼びかけながら食品の地産地消を進めている(生産量は少量)
- 小型店は人口減少の影響を強く受け、売上げが下がるとともに経営者の高齢化により継続難。

中型店<物流の構造分析> 海上輸送はほぼ毎日。ひとつの店舗専用の大型トラックごとフェリーに載り空便で日帰りし、海上運賃は「卸負担」と「小売店負担」の両方がある。



小型店<物流の構造分析> 海上輸送のパターンは複数。(単独でトラックごとフェリーに載る、混載便として宅配や隠岐汽船貨物を利用、隠岐汽船以外の海運会社を利用など)

